



防府

H O F U
ほうふ

府

平成28年
山口県防府市
市勢要覧
Hofu City Guide



笑顔あふれる1300年の史都^ま^ち

豊かな自然に囲まれ

悠久の時を超えた歴史の薫り漂う防府市。

広大な大地と海が

私たちの笑顔を優しく見守り続けます。

目次 contents

- 02 ここは歴史の交差点
- 10 ふるさと彩時記
- 18 未来を奏でるチェリスト 田中雅弘氏からのメッセージ
- 22 未来に向けたまちづくり戦略
- 36 繋げよう「幸せます」の心を!
- 38 防府市80年のあゆみ
- 44 統計・資料



ごあいさつ

昭和11年8月25日に防府市が誕生してから、
80周年という記念すべき年を迎えました。

先人から継承した自然、歴史、文化、産業等、
素晴らしい財産に感謝しつつ、100周年に向け

「学ぶなら防府、働くなら防府、住むなら防府」

と皆様に思っていただけ、

安全で美しいふるさとの創造に努めてまいります。



平成28年(2016年)8月

防府市長 松浦正人

Greetings

Founded in Aug. 25 1936, Hofu city marks our 80th anniversary this year.

We are very grateful to our great nature, history, culture and industries we have inherited from predecessors as our assets. As we further go on toward the 100th anniversary, we'd like to keep on doing our best in creating such safe and beautiful home town as where everyone would love to study, work and live in.

August 2016

Mayor of Hofu City
Masato Matsuura

인사말씀

1936년 8월25일 호후시가 탄생한 이래 80주년이라는 기념할 만한 해를 맞이하였습니다.

조상들에게 물려받은 자연, 역사, 문화, 산업 등 빛나는 자산에 감사하며 100주년을 맞이하여 「배우려면 호후, 일하려면 호후, 살려면 호후」라고 여러분께서 생각하실 수 있는 안전하고 아름다운 고향으로 가꾸어 나가도록 노력하겠습니다.

2016년 8월

호후시장
마쓰우라 마사토



ここは

歴史の交差点

旧山陽道 × 萩往還

防府は「旧山陽道」と「萩往還」という
二大街道が交差する、
類まれな「歴史・文化の宝庫」。
その場所の云われなど
時代の隔たりを橋渡ししてくれる、
「手掛かり」さえ手に入れば、
ふだんの散歩も歴史を遡る時間旅行に変わり、
いつもの景色もきっと変わって見えてくるはず。
名刹や路地裏にひっそりと息づく時代の痕跡など、
2つの街道を歩きながら
いにしへ
“古の記憶”をたどってみました。

邪馬台国論争にも登場する、 古代の「防府」

日本古代史上最大の謎とされ、新井白石や本居宣長らが研究して以来、300年にもわたって論議が続いている邪馬台国論争。そのなかに「防府」の地名が見え隠れすることがあります。

出処は、京都帝国大学(現京都大学)の内藤湖南教授が発表して、一躍脚光を浴びた瀬戸内ルート説。そのなかで内藤氏は、「魏志倭人伝」の中に邪馬台国に至る途上にあつたと書かれている「とうまこく投馬国」という国を「周防國佐婆郡玉祖郷(たまのおや多萬乃於也)」としたのです。これは現代の防府市を指しています。そのため、今でも邪馬台国に関連する本に「防府」の地名が登場することがあります。



防府天満宮 Hofu Tenman-gu Shrine 호후텐만구



玉祖神社 Tamanooya Shrine 다마노오야신사

内藤説によれば、投馬国の地は「玉祖^{すくね}宿禰^{すくね}の祖たる玉祖命^{たまのすくねのみこと}…(略)…を祀れる處^{まつところ}」で、「周防の一宮と稱せられ、今の三田尻の海港^{ひか}を控へ、内海の衝要^{しやう}に當れり」とあります。ここで取り上げられている玉祖神社は、創建が非常に古く、周辺に古い遺跡があることからみても、早くから開かれた場所であったことが分かります。緑豊かな右田の山、悠々と流れる佐波川、その前に肥沃な「玉祖の地」が広がり、多くの人が生活していたのではないのでしょうか。

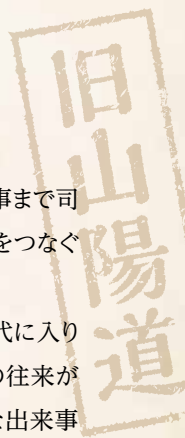
やがて卑弥呼が活躍したとされる時代が終わり、大和朝廷が日本を統一すると、周防国を横断する大路が整備されました。それが旧山陽道です。

旧山陽道の要衝の地 「富海」に残る面影

古代の太宰府は大陸文化の玄関口で、外交・軍事まで司る強大な権限をもった役所でした。その太宰府と都をつなぐ唯一の道が旧山陽道です。

その後、この道はいったん衰退しますが、江戸時代に入り参勤交代の仕組みが整うと再び整備され、人びとの往来が蘇ります。古代から近世・幕末に至るまで、さまざまな出来事の舞台となった旧山陽道が防府のまちを東西に横断しています。そのなかでも特に江戸時代の情景が今も多く残っている富海から、旧山陽道の面影を追いかけてみましょう。

夏に多くの人で賑わう富海海水浴場から少し東に歩くと、「極めて古い時代の富海人が海岸保護のために海の三女神を祀ったことは間違いない」と、防府市史に書かれている国津姫神社があります。神社の境内からは海に向かってまっすぐ参道が伸び、その先の港に建つ一ノ鳥居をよく見ると、





大和屋政助の船蔵 Masasuke Yamatoya's shipyard 야마토야 마사스케의 창고

「天保年間飛船講中寄進」の文字が刻まれています。この「^{とびふね}飛船」こそ、富海と幕末の時代を結ぶ「手掛かり」。「飛船」とは当時の小型の快速船のことで、この船を頻繁に利用していたのが明治維新の立役者、幕末の志士です。

イギリス・フランス・オランダ・アメリカの列強四国艦隊の下関砲撃を知った伊藤博文、井上馨が英国から急遽、帰国したときに上陸したのも富海でした。幕末の日本に配属された英国外交官アーネスト・サトウの名著『一外交官の見た明治維新』（岩波文庫）には、アーネストの実体験として次のような情景が描かれています。

「……この二人は、甲板のない舟に乗って陸へ漕ぎ渡り、周防の富海上陸する予定だった。八時には、二人が海岸から去って行くのを見た。中沢の考えでは、彼らは十中六、七まで首をはねられ、二度と会う機会はあるまいとのことだった」

また、富海に今も残る飛船問屋・大和屋の船蔵は、追手から九州に逃れるため高杉晋作が潜伏していた建物です。今は穏やかにみえる富海の海岸も、幕末の志士にとっては決死の覚悟で出入りしていた海岸だったことでしょう。

当時の富海の地形を知ることができる遺構が今も残っています。それは細い路地に石垣と石段が続く「船蔵通り」。一見したところ何の変哲もない石組みですが、この石垣は護岸用に築かれたもの。ここは、当時の海岸線で、横付けした船から石段を登るだけで直接家に入ることができました。ひっそりと静まる屋下がりの路地裏に、昔の海岸線を探してみると、たと



国津姫神社の一ノ鳥居
Kunitsuhime Shrine's Ichi-no-torii (shrine gate)
구니쓰히메신사 이치노도리이



伊藤井上両公上陸の碑
The monument built to commemorate Hirobumi Ito and Kaoru Inoue's landing
이토·이노우에 상륙비

え周囲の景色は変わっていても、時を超えて同じ空間にたたずんでいる自分が想像できるはずです。飛船、船蔵、海岸といった「手掛かり」を組み合わせることで、頭のなかに「江戸時代の富海宿」が少しずつ復元されてくるにちがいありません。

富海宿は宿場の規模としてはやや小さいものでしたが、山口県内を通る旧山陽道の宿場のなかではもっとも海に近い宿場で、昔から陸の交通と海の交通が交わる重要な地でした。



船蔵通り Funagura-dori street 후나구라 대로

木漏れ陽の山道を抜けて 防府市街へ

富海の町中を抜け、旧山陽道の坂道を登り、茶臼山の中腹を通って牟礼方面に抜ける山の中へと進みます。

この辺りの山道は起伏も少なく、緩やかな曲がり心地よく感じられ、防府を抜ける旧山陽道のなかでも特に自然の姿をよく残しているところ。木漏れ陽のなかを往時の旅人になった気分です歩ける山道です。登りはじめて10分ほど歩くと、「その昔今川貞世が九州探題として赴任の途時、この岩に手を懸けて休息した」など諸説がある「手懸岩」に着きました。この手懸岩から眺める瀬戸内の海は往時の旅人も絶景に足を止めたことでしょう。深い樹木の匂いに包まれた山道から眼下を見下ろすと、ふだんはなにげなく眺めるだけで通り過ぎている海もいつもと違った表情を見せてくれます。

手懸岩を過ぎると、毛利軍の追撃を受けた大内輝弘が自刃した茶臼山古戦場跡や旅籠・茶屋跡の看板があります。ここを右手に見ながらしばらく進むと、このあたりから旧山陽道はなだらかな下り坂となり、阿弥陀寺の四至(境界)を示す阿弥陀寺境界石と呼ばれている大きな石柱ほころと祠が見えてきます。そこからは平坦な道が続き「新しい宿場」を



旧山陽道茶臼山の石畳
The cobble path of the Old Sanyo-do found on Mt. Chausuyama
구 산요도 차우야마 포석



旧山陽道茶臼山から見た富海海岸 The coast of Tonomi as seen from the Old Sanyo-do on Mt. Chausuyama 구 산요도 차우스야마에서 바라본 도노미 해안



周防国衙跡
Suo-kokuga-ato, the ruins of provincial government offices 스오고쿠가 관아터



国分寺・宮市間の鍵の手
Alleys that contain right-angle bends in the area over Kokubun-ji Temple to Miyaichi
고쿠분지・미야이치에 이르는 직각도로



周防国分寺 Suo Kokubun-ji Temple 스오 고쿠분지

意味する今宿を抜けるといよいよ周防国の国府があった周防国衙跡へ到着しました。

1300年前をたどる景観

時代を遡ること、今からおよそ1300年前。大宝律令の施行により、周防の国府(国衙)がこの地に置かれました。防府の地名由来の地で、防府の礎を築いた場所でもあります。盛土の上にサツキが植えられている囲みの内側がかつての国庁域を示す場所。その面積は想像以上に大きいはず。ここに立つと、防府のまちはその起こりから確固たる基盤を有していたことが実感できます。

国衙をあとにし、山際で進路を左に折れ、古い神社を右に見てしばらく歩くと目に飛び込んでくるのが、大空に向かってサワサワと揺れる2本のクスノキの巨木。その奥にあるのが、創建以来、この場所に伽藍が建てられている周防国分寺です。かつて、全国に60あまりあった国分寺は長い歳月のあいだに衰退し数が激減してしまいましたが、防府の国分寺はその例外。千年以上も前と同じ場所に、ほぼ同じ規模の寺が建っています。1300年の昔から、この道を行き来した人びとはこの伽藍を眺め、何を願い、何を思ったのでしょうか。

国分寺の白壁を過ぎると、道が微妙に折れ曲がっている場所

に突き当たります。これは古い宿場町や城下町の入口に特有の「鍵の手」(あるいは「柁型」と呼ばれる仕組みです。「鍵の手」とは道の屈曲で敵の直進や見通しを防ぐことで、町を守る防衛設備。こんなところにも歴史の道らしい趣おもむきが感じられます。

さらに歩を進めると右手に天満宮の大鳥居が見えてきます。ここから先は一部、萩往還と道が重なっています。この一帯は昔から多くの人で賑わう場所で、天保12年(1841)の記録にも「天満宮の御神徳にて市中繁栄つかまつり、宮市と唱え申し候」(『防長風土注進案』)とあり、大鳥居の東側にあった前小路を中心に22軒もの宿屋が軒を連ねていたことが記されています。

その宿屋のうちの1軒、藤村屋の離れは2階が隠れ座敷になっていて、勤皇の志士の密会の場所であったといわれています。建物は残念ながら昭和35年(1960)に解体されてしまいましたが、現在は天満宮内の芳松庵ほうしょうあんに暁天楼ぎょうてんろうとして再建されています。

この建物には、高杉晋作・久坂玄瑞・伊藤博文・山県有朋・品川弥二郎などの長州人はもちろん、土佐脱藩浪士にして幕末の英雄坂本龍馬も訪れたと伝えられており、幕末の志士が同じ場所を闊歩していたと思うと、胸の高鳴りを抑えることができません。

この後、旧山陽道は、天満宮の大鳥居から宮市を西に向かい、現在の大崎橋の近くにあった「大崎の渡し」で佐波川を渡り、玉祖神社へと至ります。



防府天満宮 芳松庵の茶室にて
Hosho-an Tea Room of Hofu Tenman-gu Shrine 호후텐만구 호쇼안 다실에서



佐波川舟橋の碑
The monument of the old floating bridge over the Saba River 사바가와 선교의 비



右田ヶ岳中腹からみた防府平野
Hofu Plain as viewed from halfway up Mt. Migitagadake
미기타가다케 중턱에서 바라본 호후평야



らんかん橋
Rankan-bashi (Bridge with parapets) 란칸교

萩往還

幻の桑山築城と萩往還

関ヶ原の戦いで領地を周防・長門の二国に減らされた毛利氏は、新しい城を造る候補地の1つに三田尻(防府)の桑山を挙げました。その理由はかつて周防国の国府が置かれた地で、旧山陽道がまちの東西に走り、南には天然の良港を持ち交通の便がよいからです。しかし毛利氏の封じ込めを図ることもあって徳川幕府は三田尻への築城を認めず、協議の末、萩・指月山に決定しました。もし、桑山に城が築かれていたら、というのも楽しい想像です。

三田尻は萩とは違い、城下町には無い自由な雰囲気を持った歴史を歩み始めました。その原動力になったのが萩往還です。幕府が毛利氏の隆盛を防ぐため築城を認めなかった交通の要衝、三田尻。その交通の要衝という重要性は萩に城が築かれても変わらず、毛利氏は萩と三田尻の地をつなぐ大動脈として萩往還を整備し、三田尻(防府)のまちはさらに重要性を増すこととなりました。

この全長約53キロにわたる萩往還は起伏の激しい山間道。萩から三田尻(防府)を行き来する旅人や、とくに参勤交代では人馬ともに苦難を極めたようです。長い旅路をへて鯖山峠を越え、右田ヶ岳の勝坂砲台跡あたりまで来ると、瀬戸内海に開けた三田尻の地が見えてきます。険しい山道を越えてきた江戸時代の旅人は、萩往還の終点・三田尻のまちと海

を見渡して、開放感と安堵にも似た気持ちをきっと覚えたことでしょう。

防府市を南北につらぬく歴史の大動脈

岩盤や巨岩で覆い尽くされ山全体が山城であるかのような偉容を見せる右田ヶ岳には、かつて大内氏が本拠地としていた山口を防衛するため城が建てられていました。この右田ヶ岳を左に見て峠を下って行くと萩往還は現在の本橋付近の佐波川に着き、川に舟を並べてその上に板を敷いた「舟橋」を渡ります。そして沿道の両脇に街道松が植えられた道を南へ、山口小路の追い分けて旧山陽道と合流し、二つの街道が重複する区間に出ます。ここは旧山陽道の宿場町として栄えた宮市。萩藩士や他藩の藩士も行き来し、本陣・脇本陣・宿が立ち並ぶ交通の要衝です。

参勤交代のときに藩主や上級役人が宿泊した宮市本陣兄部家の門前を過ぎ、旧山陽道と袂をわかつて、萩往還は大鳥居前をらんかん橋へと右に折れていきます。かつては佐波川からの水が萩往還にそって流れ、風情のあるたたずまいでした。らんかん橋の下を流れる川の音に往時の清々しさが感じられます。きっと昔の人も同じことを感じたのではな

いでしょうか。

萩往還をそのまま南進し、古代からこの地に有力な豪族がいた証である「車塚古墳」や平成27年大河ドラマ「花燃ゆ」の主人公とその夫、幕末から明治にかけて激動の時代を生きぬいた二人が明治26年(1893)に建てた本邸跡「楯取素彦・美和子終焉の地」前を通過します。幕末の頃、三田尻の駐屯地と宮市を往復していた奇兵隊の隊士も、連日この道を通って酒垂山(天神山)のふもとへと駆け抜けていったのでしょう。

やがてかつての海が近づくと、萩往還は緩やかに左へ曲がり、その先に歩を進めると、永い年月の間静かに旅人を見守ってきた古い道標が迎えてくれます。ここを左に折れると、「望東尼終焉之地・毛利元敬書」の文字が刻まれた石碑に出会います。今も多くの人に愛されている高杉晋作の句「おもしろきこともなき世を(に) おもしろく」は、勤皇の志士と交流があり、高杉を庇護した歌人・野村望東尼との唱和で生まれたもの。高杉のこの句を受けて望東尼は「すみなすものはこころなりけり」と下の句を連ねました。

石碑を過ぎると萩往還の終点、三田尻御茶屋も目の前です。いよいよ萩からの道のりも終点を迎えます。



楯取素彦・美和子終焉の地
The residence where Motohiko and Miwako Katori lived until his demise
가토리 모토히코·미와코 최후의 장소



楯取素彦 美和子銅像
The bronze statue of Motohiko and Miwako Katori
가토리 모토히코·미와코 동상



野村望東尼 150回忌記念歌碑
A monument commemorating the 150th anniversary of Botoni Nomura's death, on which her waka (Japanese poem) is inscribed.
노무라 보토니 150주기 기념 시비

古の情緒が漂う 三田尻御茶屋とその周辺

三田尻御茶屋(英雲荘)は藩主の宿泊などにあてられた藩の公館で、文久3年(1863)には八月十八日の政変で京都を追われた尊王攘夷派の三条実美ら七卿が滞在し、多くの志士も集まってくるなど、幕末の動乱と防府を語るうえで欠かせない建物です。現存する建物のなかで最も古いのは、七卿も滞在した大観楼棟。2階に上がると吹き抜ける風も心地よく、



三田尻御茶屋(英雲荘)大観楼2階にて
The view from the second floor of Daikanro, Mitajiri Ocha-ya (the former consulate of the Hagi Domain, also known as Eiuin-so)
미타지리 찻집(에이운소) 전방루 2층에서

幕末の頃はどこまでが海で、いかなる景色が眼下に広がっていたのか、思いを馳せることができます。

また、この近くには、7人の公卿がよく祈願に訪れたという老松神社もあり、きっと傷心を癒したのではないのでしょうか。

御茶屋に行き着く直前の萩往還は、旧山陽道の国分寺・宮市間と同様、藩の公館を敵の攻撃から守るため、くの字型の屈曲を見せています。建物の玄関も現在の向きとは異なり、萩往還に面した南側に設けられ、道路もいまの倍の幅



老松神社 Oimatsu Shrine 오이마쓰신사



三田尻御舟倉跡 Remains of the Mitajiri Shipyard 미타지리 창고 터

があったといえます。往時の道のつくりや建物の配置を頭に描きながら萩往還にたたずむと、一文字三ツ星(毛利家御家紋)が描かれた長持を抱えた参勤交代の一行が御茶屋前に整然と並んでいる、そんな光景も自然と浮かび上がってきます。

御茶屋から500メートルほど離れたところには、毛利水軍の本拠地として開かれた「御舟倉」の跡も残っています。御茶屋に立ち寄った参勤交代の一行は、ここで船に乗り換え、海路で大阪を目指しました。今では、わずかとはいえ通掘と水路の一部が残り、往時を偲ぶことができます。水面に映る光が「ここに毛利水軍ありき」と訴えかけているような、郷愁を誘う史跡です。

萩往還の終点三田尻御茶屋(英雲荘)から周囲の景色を見渡してみると、煉瓦で組まれた江戸時代末期建造の興味深い煙突が目に入ります。煙突のある場所はいまも古い入

母屋屋根の建物を大切にしながら営業している醸造場ですが、元は藩の御米蔵でした。この辺りには他にも、S字型の緩やかに湾曲した道があったり、富海の船蔵通りに似た昔の海岸線を表す石積みが続く路地があったりと、歴史の痕跡を示す風景が日々の暮らしのなかに今も息づいています。

「歴史」を活かして、 未来の防府へ

旧山陽道と萩往還を巡ると、風雪に耐えて残る石垣や昔の海岸線、街道の風情、道標や古い神社など、防府の旧街道沿いには歴史を彷彿させる情景を思った以上にたくさん見つけることができました。そして何気ない路地裏の風景もそうですが、歴史に触れる光景に出会ったときに感じるのは、どこか人の心を包み込むような、大きな力。その大きな力は長い歳月をかけて熟成されてきたものです。

多くの大きな歴史に彩られた2つの古い街道が市中を走り、交差するまち・防府。二大街道を中心に培われてきたまち並みと“古の記憶”を大切にしながら、時代の転換期に未来を切り拓いてきた先人たちと同様、わたしたちも未来の防府へと新しい歴史を紡いでいく時が来ています。





ふるさと
彩時記
Spring

春

防府平野の最高峰、大平山。
春には約10万株のつつじが見頃を迎えます。
四季折々に魅せる豊かな山の表情は、
人々の心を癒し続けています。





春には色とりどりの花が咲き誇る防府のまち。天神山公園では430本、桑山公園は500本と、美しさを競うように咲き乱れる桜。4月中旬に可憐な藍紫の花をつけるエヒメアヤメも見所の一つです。防府天満宮の大石段に鉢植えの花々が並ぶ幸せますウィークや、産業の発展を祈願する金鮎祭など、様々な行事が防府のまちを彩ります。

1	2	6	7
	3	8	
		9	10
4	5		

- 1. 桑山の桜**
Cherry blossoms in Mt. Kuwanoyama
구와노야마 벚꽃
3月~4月上旬
- 2. 防府天満宮の大石段花回廊**
A flower-adorned corridor along the great stone steps of Hofu Tenman-gu Shrine
호후덴만구 돌계단 꽃회랑
4月下旬~5月上旬

- 3. 大平山山頂公園のつつじ**
Azaleas of Ohirayama Mountaintop Park
오리라이마 산정공원 철쭉
5月上旬
- 4. 防府天満宮金鮎祭**
Kin-ayu (gold ayu fish) Festival of Hofu Tenman-gu Shrine
호후덴만구 긴아유 축제
5月中旬
- 5. 宇佐八幡宮シャクナゲ祭**
Rhododendron Festival of Usa Hachiman-gu Shrine
우사하치만구 석남화 축제
4月中旬
- 6. 防府航空祭**
Hofu Air Festival
호후 항공제
5月下旬

- 7. 佐波川の鯉のぼり**
Koi-nobori (carp streamers) swimming in the Saba River
사바가와 고이노보리
4月下旬~5月上旬
- 8. 向島の寒桜**
A kanzakura cherry tree in Mukoshima
무코시마 벚꽃
2月中旬~3月上旬
- 9. 西浦のエヒメアヤメ**
Ehimeayame (iris rossii) in Nishinoura
니시노우라 에히메아야메
4月中旬
- 10. 玉祖神社玉の祭**
Tamano Matsuri Festival of Tamanooyya Shrine
다마노오야신사 타마노마즈리
4月中旬



ふるさと
彩時記
Summer

夏

夏の訪れを告げるのは、^{しと}淑やかに花開くあじさい。
東大寺別院周防阿弥陀寺では約80種類、
4000株ものあじさいが訪れる人々を出迎え、魅了します。





様々なお祭りが開催される防府の夏。仮水田に巫女が苗を植え付け豊作を祈願する御田植祭や、迫力満点の三田尻の女尻相撲大会、夏の幸せますフェスタの防府おどりなど、市内はとても賑やかです。菅原道真公の誕生を祝う御誕辰祭では、3,000本余りのろうそくに照らされた光の参道が、人々を幻想的な世界へと誘います。

1	6	7
2	3	8
4	5	9

1. 東大寺別院周防阿彌陀寺のあじさい
Hydrangeas in Soto Amida-ji Temple, a branch temple of Todai-ji
도다이지 분원 스오아미다지 수국
6月下旬

2. 夏の幸せますフェスタ
"Shiawasemasi" Summer Festa
여름, 시아와세마스 축제
7月中旬

3. 佐波川の灯籠流し
Toronagashi (floating lanterns) ceremony in the Saba River
사바가와 등롱띄우기
8月中旬

4. 富海海水浴場の海開き
The start of the swim season at Tonomi bathing beach
도노미 해수욕장 개장식
7月上旬

5. 老松神社三田尻の女尻相撲大会
Mitajiri Women's Buttocks Sumo Tournament at Oimatsu Shrine
오이마쓰신사 미타지리의 여성엉덩이씨름대회
7月下旬

6. 防府天満宮御誕辰祭(花火大会)
Hofu Tenman-gu Shrine's Gotanshin-sai Festival (display of fireworks)
호후텐만구 탄신 축제(불꽃놀이)
8月上旬

7. 防府天満宮御田植祭
Hofu Tenman-gu Shrine's Otaue-sai (rice-planting) Festival
호후텐만구 모내기 축제
6月下旬

8. 佐波川の鮎釣り
Fishing for ayu (sweetfish) in the Saba River
사바가와 은어낚시
6月1日解禁

9. 防府天満宮の万灯の夕べ
Lanterns decorate the stone steps of Hofu Tenman-gu Shrine (Lantern festival)
호후텐만구 만등의 밤
8月上旬



ふるさと
彩時記
Autumn

秋

防府天満宮で行われる御神幸祭(裸坊祭)。
白装束の裸坊たちが「兄弟ワッショイ!」のかけ声と共に、
勇ましく防府のまちを練り歩きます。





木々が色づき始めるころ、防府のまちもまた鮮やかな一面を魅せます。腰に色とりどりの布を付けて舞う宇佐八幡宮の腰輪踊は、五穀豊穡を祈願するとても華麗な秋祭。また、恒例行事の愛情防府フリーマーケットでは、防府駅から商店街にかけて毎年多くの人出で賑わいます。充実した秋の防府の活気が感じられます。

1	2	7
	3	8 9
		10
4	5	6

- 1. 天徳寺のイチョウ**
Ginkgo trees of Tentoku-ji Temple
덴토쿠지 은행나무
11月上旬
- 2. 幸せますマラソン**
"Shiawasemasi" Marathon
시아와세마스 마라톤
10月上旬
- 3. 防府天満宮御神幸祭(裸坊祭)**
Hofu Tenman-gu Shrine's Gojinko-sai Festival (also known as Hadaka-bo Matsuri)
호후텐만구 신행축제(하타카보 마쓰리)
11月第4土曜日
- 4. 宇佐八幡宮の腰輪踊**
Usa Hachiman-gu Shrine's Koshiwa-odori, a ritual prayer for a good harvest
우사하치만구 고시와오どり
9月下旬
- 5. 市民体育祭**
Hofu Citizens' Sports Festival
시민체육제
10月上旬
- 6. 愛情防府フリーマーケット**
Aijo Hofu (full of love) Flea Market
애정 호후 벼룩시장
10月中旬
- 7. 佐波川の夕景**
An evening along the Saba River
사바가와역의 석양
11月中旬
- 8. 防府天満宮花神子社参式**
Hofu Tenman-gu Shrine's Hana-miko Shasan-shiki, an annual ceremony where a shrine maiden offers prayers
호후텐만구 하나미코 참배의식
10月上旬
- 9. 天神おんな御輿**
Tenjin Onna-nikoshi (portable shrine) carried by ladies
덴진 여자 니코시
裸坊祭の翌日
- 10. 東大寺別院周防阿弥陀寺の紅葉**
Autumn leaves in Suo Amida-ji Temple, a branch temple of Todai-ji
도타이지 분원 스오아미다지의 단풍
11月中旬



ふるさと
彩時記
Winter

冬

小俣八幡宮の神事「笑い講」は、
榊を片手に「ワーハッハッハッ」と
3回笑い合い、一年の憂さを
豪快に笑い飛ばす年忘れの奇祭。
今年の収穫への感謝と
来年の豊作を祈ります。





寒さを忘れる程、防府の冬は人のエネルギーに満ちています。全国的にも注目を集める防府読売マラソン大会は、今や冬の風物詩。市民は、大寒みそぎで無病息災を祈って身を清め、牛替神事では運試しに興じます。やがて、銀世界が次の季節へと表情を変える頃には、天満宮の梅のつぼみもほころび始め、また新しい春が訪れます。

1	2	6	7
	3		8
4	5		9

1. 防府天満宮節分祭(牛替神事)
Setsubun Festival (bean-throwing ceremony) of Hofu Tenman-gu Shrine, also known as Ushikae Shinji
호후텐만구 절분축제(우시가에 제사)
2月2、3日
2. 毛利氏庭園の雪景色
A view of Mohri-shi's Garden in winter
모요리씨 정원의 설경
2月中旬

3. 笑い講(神事)

Warai-ko, a Shinto ritual which incorporates laughing
와라이코(제사)
12月上旬

4. 春日神社の大寒みそぎ

Kasuga Shrine's Daikan Misogi (a purification ceremony on the coldest day in winter)
가스가신사 대한 목욕제
1月下旬

5. 防府読売マラソン大会

Hofu Yomiuri Marathon
호후 요미우리 마라톤대회
12月中旬

6. 中心市街地イルミネーション

The illumination of central Hofu
중심 시가지 일루미네이션
11月下旬~1月中旬

7. 防府読売マラソン大会

Hofu Yomiuri Marathon
호후 요미우리 마라톤대회
12月中旬

8. 防府天満宮初詣

New Year's visit to Hofu Tenman-gu Shrine
호후텐만구 새해 참배
1月上旬

9. 防府お針祭

Hofu O-hari Matsuri (a memorial service for broken sewing needles)
호후 바늘축제
2月上旬

Profile

田中 雅弘

たなか まさひろ

防府市生まれ。華浦小学校、山口大学教育学部附属山口中学校を卒業後、上京。東京藝術大学音楽学部附属音楽高校、東京藝術大学卒業。霧島国際音楽祭賞、日本音楽コンクールチェロ部門第2位、ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位、チャイコフスキー国際コンクール・チェロ部門ファイナリスト、ディプロマ賞、山口県芸術文化振興奨励賞などを受賞。現在、東京都交響楽団首席チェロ奏者、霧島国際音楽祭企画運営委員、防府音楽祭音楽監督。

ふるさと防府のため、音楽監督として「防府音楽祭」を立ち上げた東京都交響楽団首席チェロ奏者の田中雅弘さん。今ではその音楽祭をはじめ、数々の音楽イベントを楽しみに、全国各地から、皆さんが防府を訪れてくださるようになりました。音楽を通して、ふるさとへの思いを田中さんに語っていただきました。

Special  Interview

未来を奏でる

田中雅弘氏からのメッセージ

音楽文化の 礎を築いた父のもとで



私の音楽との出会いは、父が音楽家だったことから始まります。父は1911年生まれで、戦争にも行っています。音楽大学を卒業した父にとって、とてもつらい時期だったと思います。その後、大学で音楽を教えました。本当は演奏家になる夢があり、その夢を姉と私に託したのではないかと思います。防府では、父の他に石井洋之助先生、砂田坦先生が音楽文化の発展に取り組んでこられた。そのおかげで今、防府出身の音楽家はものすごく多いですよ。

3歳のときに始めた ピアノとヴァイオリン

最初は音楽レッスンから逃げまわって野球ばかりしていました。家は老松神社の近くにあり、英雲荘の界限でもよく遊んだものです。幼い頃は、自分が音楽家になるという意識はなく、ヴァイオリンはすぐにやめてしまいました。でも、父には私を音楽の道へ進ませる強い意志があったのでしょね。小学校の頃、地元で父とレニングラード・フィルを聴きに行ったり、ダニール・シャフランのハイドン（チェロ協奏曲第2番）のレコードを聴いたり…。感動しました。このとき、8歳でチェロを始めました。山大附属中学校に進学してからは野球部と弦楽部に入部し、好きなスポーツにも励んでいたのですが、同時に東京や広島へチェロのレッスンに通うようになり、まわ

りにすごい人たちがいる中で、自分も頑張らなきゃいけないという気持ちになっていきました。

防府を離れ、 東京藝大附属高校へ進学

藝大附属高校では、全国からエリートばかりが集まっていて衝撃を受けました。でも、外国が近い存在に感じるようになったのも、この高校時代のとき。東京藝大に入ってすぐウィーンに留学したのですが、それは高校時代、国内外の一流プレーヤーの演奏をたくさん聴くうちに、音楽の都ウィーンに行きたいという思いが強くなったからなのです。

藝大で成績優秀な方へ贈られる 安宅賞を受賞

安宅賞は、防府音楽祭を現在一緒にやっている景山誠治君（ヴァイオリン）と一緒に受賞しました。彼は才能に恵まれ、彼の姿から勉強の仕方や音楽に対する考え方を教わりました。今、東京都交響楽団の音楽監督をやっている大野和士氏も同級生です。当時、私が景山君の他に一緒にカルテットをやった四方恭子さん（ヴァイオリン）・波木井賢さん（ヴィオラ）からも影響を受けました。四方さんはケルン放送交響楽団のコンサートミストレスになられ、今は都響に。波木井さんはアムステルダムムのコンサートヘボウ管弦楽団の首席ヴィオラ奏者に。大野君もヨーロッパで超一流の音楽家に。私自身、彼らと

チェリスト





出会って大きく変わりました。

チェリストへの厳しい道

25歳の時、イタリアのコンクールに、30歳の時にチェロでは最高峰とされるロシアのチャイコフスキーコンクールに出ました。30歳までは勉強したいと決めていて、その審査員長だったダニール・シャフランに学んでいました。外国で日本人がうまいと、なぜ日本人がこんなにうまいのだ、と注目される。それを目指していましたね。野心というか、生意気だったのです。吉田松陰先生じゃないですけど、私は絶対外国人には負けないぞ、というような気持ちで、厳しい道を進んで行きました。日本人って、寸暇を惜しんですごく努力するものですね。外国へ出ていくと、日本人のもとと持っている賢明さを知り、それによって成長していくのだと思いますね。

私(の心)を動かした一通の手紙

1996年、都響に入団後、いろいろな国際音楽祭を企画運営させていただいている中で、十数年前、当時の防府市文化振興財団の方から、防府の芸術や文化について語られた熱い手紙をいただいたのです。それまで、私は防府にあまり帰っていなかったの

ですが、手紙を読んでから、ふるさとを意識して帰るようになり、どうすればみんなが幸せな気持ちで暮らしていけるのだろうか、音楽の力で何かできないだろうかと考え、「音楽祭、やろうよ」と、話をしたのです。防府音楽祭の誕生です。

防府音楽祭がもたらすもの

財団の方たちは、いつも防府のことを熱心に考えておられてうれしいですね。そんなスタッフの方とともに、私はいろいろな人に逢えたり、たくさんの方が集まったりすることが、人やまちが元気になる秘訣だと思って音楽祭を続けています。防府音楽祭は市民参加型。色々な人に関わってもらって一緒に元気になりたいのです。協力してくださっている藤原直彦さん(作詞)・真紀さん(作曲)や、すぎやまこういち先生(作曲)も、ふるさとへの思いに対しては同じ志を持たれる素晴らしい方たちです。すぎやま先生は「防府が好きだから」と言って来てくださっているのです。そして来訪されている間、あそこのラーメンがおいしいとつぶやいてくださったりして…。今、音楽仲間の間では防府って有名です。景山君や東京メトロポリタン(金管五重奏)のメンバーたち、また一緒に演奏される方たちが「防府の音楽祭いいよ」「魚がおいしいよ」って、ネットで防府の良さを広告

防府音楽祭

田中雅弘さんを音楽監督に迎えて2002年から始まり、今や県内外から多くの皆さんが訪れる音楽祭となっています。開催は数日間にわたり、市内各地での街角コンサートから始まり、その後、アスピラートを主会場として、毎年異なるテーマでさまざまなジャンルのコンサートを開催。趣旨に賛同した著名な音楽家の皆さんが全国各地から出演してくださっています。

してくれているのです。

そもそも私は、防府の良さを友人に教えてもらったのです。東京から友達を連れて帰ってくると、みんな「いいところだね」と言ってくれる。それを聞いて考えてみたら、魚も空気も水もおいしい。ああ、そうなのだ、と。それからいろいろ見直すようになり、こんなにいいまちだったのだ、と改めて気づいたのです。都響の広田智之君をはじめ同郷の音楽家の人も帰りたがっています。今や私は、防府が大好きです。誇りを持っていいんですよ。そして歴史のある阿弥陀寺や国分寺、毛利氏庭園、英雲荘でもコンサートをやりました。この前、ヨーロッパへ演奏旅行に行きましたが、文化の漂うまちは風格があり、オーラがありますね。伝統と創造。文化を大事にしているまちは必ず生き残れる、と強く感じました。

防府の何を求めて

すぎやま先生がおっしゃるように、音楽は心の友、辛いときも音楽と仲良くなることで救われていく…。私は防府を元気で心豊かなまちにしたいのです。私は音楽祭などでいろんなまちへ行くので、そのまちと比べて防府のことを考えることが多いです。防府音楽祭は15年続けてきました。同じように音楽セミナーや、小学校から高校まで各学校を回り、生の演奏を届ける活動も続けています。これらの活動

は、ふるさとへの思いがそうさせているのです。最近では北海道や大阪、福岡などからも聴きに来られるほど人気が高くなりました。人がそこへ行こうという気持ちを起こさせるようにすれば、まちは変わっていくかもしれませんね。

音楽の力を信じて

私は、外から訪れる人に、防府っていい感じだな、と思ってもらえる美しいまちや人になってほしいのです。そのためには、例えば美しい景色を見たときに、ああ、美しいなと感じたり、また閑静だなと感じる心を。音楽も同じです。何百年も経った楽器から出てくる、聞いたことのない美しい音を聴いて、ああ、いいなと感動する、そんな心を持ってほしいのです。その経験を積み重ねることによって心は豊かになっていき、外見上の美しさではなく、求めていくものは価値の高いものになっていくでしょうね。いい感じの防府とは、そんな美意識を持ち合わせたイキイキしたまちや人だと思うのです。音楽には力があります。音楽の本当の素晴らしさを知ってほしいと思います。ふるさとに誇りを持ち、ふるさとの何を残して伝えていくか、何を变えていくかをみんなで考え、創っていくことが大切です。私は、これからも音楽活動を通して、そのお手伝いをしていきたいと思っています。



“動かざるもの”を中心に、 四方、内外に相互自在な交流を

平安時代創建の防府天満宮。

約110年間、防府市の表玄関としてその役目を果たしてきたJR防府駅。

また臨海工業地帯の物流拠点としての三田尻中関港。

時を経ても変わらない“動かざる拠点”である天神様と駅と港。

これらの拠点を結ぶ南北のラインと、東西に走る旧山陽道

北に向かって伸びる萩往還がそれぞれ交差する防府市。

日々の暮らしに必要な主だった機能をまとめるコンパクトシティという概念をもとに

輝かしい可能性を秘めた“ふるさと「防府」”の新しいグランドデザインを進めています。

友好交流都市 Friendship exchange city

アメリカ合衆国 モンロー市 Monroe (U.S.A)



モンロー市議会にてクラーク市長・議員の方々とともに

広島県 安芸高田市 Akitakata-shi (Hiroshima Pref.)



ひろしま安芸高田神楽 (Hiroshima Akitakata Kagura)

自然や神への畏敬、恩恵に対する先人の心を今に伝える大きな役割を果たしています。



グリシッチ大使、長井忠さんとともに

セルビア共和国 Republika Srbija

平成28年(2016年)6月

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、セルビア共和国を相手国とするホスタウン登録が決定しました。

防府市は、セルビア共和国男女バレーボールチームの事前合宿などの招致や、文化・芸術・教育など様々な分野で交流を行ってまいります。





防府天満宮・うめてらす



JR防府駅



三田尻中関港
平成24年10月撮影

“幸せます”のまち防府の創造 輝く人材が 防府の未来を切り拓く

少子高齢化や経済のグローバル化、情報化など、
今、私たちは変化する時代の渦の中に立っています。
さまざまな課題に挑戦し、ふるさと防府の未来への扉をひらくため、
「防府市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき
将来にわたって持続的に発展していく地域社会を
構築するための取組を推進していきます。





学ぶ

【基本目標2】
未来を拓く
地域教育力の再生

産み・育む

【基本目標1】
若い世代の希望をかなえる
結婚・出産・子育て
環境の創造

働く

【基本目標3】
産業振興による
新たな雇用の創出

創る

【基本目標5】
元気みなぎる
コンパクトシティの形成

住む

【基本目標4】
防府市への人材の
定着・還流・移住の推進



学ぶなら防府 働くなら防府 住むなら防府



う み はぐくむ

産・育

Birth

Growth

子育て



若い世代の希望を かなえる結婚・出産・ 子育て環境の創造

本市の合計特殊出生率は、近年上昇傾向にあり、平成25年には1.76と比較的高い水準となっていますが、「結婚・出産・子育てに関する市民アンケート調査」の結果などでは、結婚・出産・子育てに関する希望と現状の間に大きな開きがあります。「脱少子化」を確実なものとするためには、若い世代が将来の展望を描き、家庭を築いて子どもを産み育てたいという希望がかなえられるとともに、全ての子どもが健やかに成長できる社会を構築していくことが重要です。このため、防府市子ども・子育て支援事業計画の理念として掲げた「子どもの輝く笑顔 夢を育むまち 防府」の実現に向け、若い世代が安心して働ける環境づくりや結婚、妊娠・出産、子育てに対する支援などを充実させ、子どもを産み育てやすい環境を創造します。



▲ 乳幼児相談
Consultation for parents with babies and infants
영유아 상담



▲ 親子郷土料理教室
A parent-and-child cooking class (Let's learn how to cook local dishes)
자녀동반 향토요리 교실



▲ 集まれわくわく広場
A parent-and-child event, "Let's gather at Waku Waku Plaza"
아쓰마레 와쿠와쿠 히로바



▲ 桜本児童遊園
Sakuramoto Children's Playground
사쿠라모토 아동놀이공원

地域で広がる子育て支援の輪

防府市ファミリーサポートセンターは、地域において子育ての援助を受けたい人と援助を行いたい人をつなぐ架け橋です。援助の対象は0歳から小学6年生までで、放課後児童クラブの送迎や子どもの預かりなどに利用されています。依頼会員だった方が、子育てが一段落した後、援助会員になられる場合もあります。私自身も皆さんを支援することで元気もらっています。この仕組みを多くの方に知っていただき、支援の輪を広げていきたいと思っています。



防府市ファミリーサポートセンター長兼アドバイザー
岡本 早智子さん

我ら TOPIC
幸せびと



まなぶ
学

Education

教育



未来を拓く 地域教育力の再生

地域創生の鍵は、地域を担う「ひと」づくりにあり、その「ひと」を育む「教育」は、まさに地域創生のエンジンの役割を担っていると言えます。子どもたちの夢と志、ふるさとへの誇りと愛着を育み、防府の未来を担う人材を育成するためには、学校・家庭・地域が連携し、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりが必要です。「学ぶなら防府」と市内外の子育て世代の方に選んでもらえるよう、地域とともにある学校づくりの推進や主体的・協働的に学ぶ力の育成、家庭や地域の教育力の向上を図り、地域社会全体で次代を担う子どもたちを育成します。



▲ 登校風景
Students walking to school
등교 풍경



▲ 市長と中学生の対話風景
The mayor and junior high-schoolers engaging in a discussion
시장과 중학생의 대화 풍경



▲ 右田小学校新校舎
Migita Elementary School's new building
미기타초등학교 새 교사



▲ 全小学6年生・中学2年生と給食
The sixth grade of elementary school and the second grade
of junior high school enjoying their school lunch together
전체 초등학교 6학년·중학교 2학년과 급식



▲ 青少年科学館ソラル
Hofu Science Museum SOLAR
청소년과학관 소라루

未来を担うリーダーを育てる

菅公みらい塾は、小学5年生から中学2年生までの市内の子どもたちが集まり、防府の歴史や文化、産業などを専門家から学ぶ塾です。その内容を考え、人と人をつなぐのがコーディネーターの役割です。毎回違う内容を企画するため、私自身も学ぶことが多く、視野が広がり、まちを見る目が変わりました。子どもたちと触れ合うことで、たくさんの発見や喜びを感じています。ここで学んだ子どもたちが、防府の未来を支える人財(人材)になることを願っています。



「菅公みらい塾」
コーディネーター
土手 美樹さん



はたらく

働

Employment

雇用



産業振興による 新たな雇用の創出

本市の総人口は近年、横ばいで推移していますが、年齢3区分別の人口の推移を見ると、年少人口と生産年齢人口が減少し老年人口が増加しています。特に生産年齢人口は産業を支える重要な働き手であり、生産年齢人口がこのまま減少すると、将来にわたり活力ある地域社会を維持することは厳しくなることが懸念されます。このため、生産年齢人口の減少に歯止めをかける必要があり、本市の特性を活かした企業誘致活動や市内企業、創業者への積極的な支援により、新たな雇用に創出します。また、観光や農林水産業など、本市の特性を活かした産業振興により「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環の確立を目指します。



● ほうふ創業(アントレ)スクール
"Hofu Entrepreneurs' School"- holding seminars to
nurture future entrepreneurs
호후 창업(양트레) 스쿨



● デザインプラザHOFUじばさんフェア
Design Plaza, Hofu Jibasan (local industry) Fair
디자인 플라자 HOFU 지역산업



▲ 潮彩市場の賑わい
Lively Shiosai Seafood Market
시오사이 시장의 활기



▲ 新規就農支援
Support for people who want to become
part of the agricultural community
신규취농 지원



▲ サテライトオフィス誘致
Invitation of satellite offices
세틀라이트 오피스 유치

地域活性化の鍵は「シビックプライド」

地域づくりに地域住民一人ひとりが当事者意識を持って関わり合う。そのような自分に芽生える自負心のことを「シビックプライド」と呼びます。若者たちが、新しい生き方や働き方を創造して行くためには、今日、「シビックプライド」の醸成は必要不可欠です。近年授業で、防府ブランド「幸せます」による地域づくりに、市民や事業所の方と一緒に取り組んでいます。幸せが増す地域を、多くの地域住民が当事者となって創造していければ、幸せます。



地域ブランド
「幸せます」仕掛人
黒川 康生さん



すむ 住

Live

くらし・生活・定住



防府市への人材の 定着・還流・移住の推進

本市の人口の社会動態は、景気動向に左右される形で社会増と減の波があり、平成25年(2013年)、平成26年(2014年)は、本市の経済と雇用を牽引する自動車関連産業の業績の好転などから社会増となっています。国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計においても、社会増が見込まれていますが、若者が進学時や就職時に転出していく状況は続いていることから、「産業振興による雇用の創出」と一体となって、若者を中心とした人材の定着・還流・移住の流れを創りだしていくことが重要です。このため、高校生や地元大学生等に対して、市内の高校や県内大学等と連携して本市企業等の個性や魅力を伝える取組を強化し、本市への定着を促進するとともに、県外進学者等に対する就職支援体制を整え、若者の還流を促進します。また、首都圏等からの移住希望者に対して、本市の魅力や移住情報等を積極的にPRするなど、本市に幅広い人材を呼び込む取組を進めます。



▲ 移住プロモーション動画より
A scene from a video encouraging relocation to Hofu City
이주 프로모션 동영상 중에서



▲ 企業合同就職フェア
Career fairs held in conjunction with the private sector
기업 합동 취업박람회



▶ 高校生の模擬職員体験
High school students interning at City Hall
고교생 모의직원 체험



▶ 若者地元定着セミナー (Hofull)
Holding "Hofull" seminars to encourage young people to work in local businesses
청년 지역정착 세미나 (Hofull)

Uターンで住みやすさを実感

高校を卒業後、一旦地元を出ることで、防府の良さに気付くことができました。温暖な気候や日照時間の長さ、災害の少なさ、アクセスの良さ、スーパーの数の多さなど、良いところがたくさん!暮らしやすさは抜群です。それに、水や食べ物もおいしい。友達や知り合いも多いので、地元で起業する安心感もありました。やはり地元の同級生の存在は大きいですね。これまでの絆を大切にしながら、新たなつながりを増やしていきたいと思っています。



フラワースペース
ユーコ・フローリスト 侘晴
店主

森本 幸代さん



つくる

創

Creation

創造



元気みなぎる コンパクトシティの形成

防府市人口ビジョンの将来展望によると、平成42年に若者の転出超過がなくなり、合計特殊出生率が平成52年に人口置換水準である2.07に上昇したとしても、平成72年の本市の人口は約10万人に減少することが見込まれます。既に本市の周辺地域では高齢化率が40%を超え、人口減少が急速に進行しているところもあり、将来の人口の見通しを適切に踏まえ、限られた資源の効率化が図られた、将来にわたり持続的に発展していく地域社会を構築していく必要があります。このため、地域との交通ネットワークが形成された活力ある都市核づくり、学校を核とした地域コミュニティの活性化、公共施設マネジメントの推進など、人口減少社会を見据えて、子どもや高齢者をはじめ誰もが元気に活動できるコンパクトな都市の形成を進め、「しごと」と「ひと」の好循環の確立を支える「まち」の実現を目指します。



◆ 景観ワークショップ
Landscape Workshop
경관 워크숍



◆ 市民一斉清掃
Citizen clean-up activity
시민 일제정소



「潮彩市場防府」を中核とする三田尻港の賑わいの創出
産業振興を推し進め、新たな賑わい創出の交流拠点として整備を目指します。



▲ ルルサスでの賑わい
The buzzing RURSUS commercial complex
루루사스에서의 활기



▲ 野島の浜市
Hamaichi (seafood market) of remote Noshima
노시마 해산물시장



▲ 総合防災訓練
General disaster preparation drill
종합방재훈련

地域おこしで藍染めの魅力を発信

藍染めはもちろん、豊かな自然環境・歴史・文化といった魅力ある風土に惹かれて、昨年、広島市から防府市に移住してきました。現在、市の嘱託職員として、地元の方々と一緒に藍の栽培や加工を行い、「藍の郷づくり」を進めています。地域の方々がよくしてくださるので助かっています。ゆくゆくは、地域の古民家を活用して民宿を構え、昔の生活体験を提供したいと考えています。楽しみながら経験を積み重ね、防府を盛り上げていきたいと思っています。(住岡)



地域おこし協力隊
住岡 修さん
大道 竜士さん



幸いです。便利です。
 助かります。
 うれしく思います。
 ありがたいです。
 そして、幸せが増します。



繋げよう「幸せます」の心を！

「ちょっと手伝ってもらえたら幸せます」「ご参加いただけたら幸せます」。

言うほうも言われたほうもなんだかほんわり、いい気分。

心と心を柔らかく結びつける「幸せます」は防府の誇る地域ブランド名になりました。

グッズだけではなくサービス、イベントまで、防府にはさまざまな「幸せます」があります。

いっしょに長く、愛してもらえたら幸せます。

山口県では「～してもらえると幸いです・助かります・ありがたいです・便利です」という際に「幸せます」という言い方をします。上品で、気持ちの伝わる言い回しです。平成22年5月にテレビ番組で取り上げられ、全国的にも知られるようになりました。

防府市では、平成23年から、この「幸せます」ということば

に「幸せが増す」という意味もプラスし、「うれしく思う・ありがたく思う・幸せが増す」等の価値を持った地域ブランドとして活用しています。

人と人、人とモノ、人と地域を繋げる「幸せます」ブランド。防府で生まれた地域ブランドを大切に育て、暮らしに取り入れ、未来へ繋げていきます。

幸せが増す、「幸せます」認定商品。ますます増幅中！！



幸せますきんつば



幸せますアマンディヌ



幸せますランチ



幸せます外郎



幸せます珈琲・アイス珈琲
珈琲アイスクリーム



幸せますラー油



幸せますキャンディ



幸せますゴルフボール



幸せますこはぜ叶え結び



幸せます化粧筆(熊野筆)



「幸せます」ブランド立ち上げに携わった防府商工高等学校では、「課題研究」等の授業で地域の課題解決や商品開発について学び、地元企業と共同でグッズや飲食メニュー、イベント等を立案、具体化。持つ人、使う人が幸せな気持ちになる商品を生み出しています。

「幸せます」商品・サービス、
商標の使用申請等のお問合せは・・・

防府商工会議所・防府ブランド知財戦略センター
〒747-0037 防府市八王子2-8-9 デザインプラザHOFU 3F 電話:0835-22-4352
E-mail:hofu@h-c.or.jp <http://shiawasemasu.jp>



幸せますタオル
プリントワッペン



幸せます淡如水



幸せますストラップ・プレスレット



幸せます伝言メモ帳



幸せますベビーアイテム



幸せます雨傘

防府市80年の あゆみ 1901 ▶ 2016

History of HOFU City

防府のあゆみは、山陽鉄道が全線開通した翌年1902年に防府町が誕生したことに端を発します。
その後、1936年に防府町、中関町、華城村、牟礼村が合併し防府市が生まれました。
以来80年、防府市は着実にあゆみを進めてきました。
ここでは、防府のあゆみを懐かしい写真とともに振り返ります。



- 1901 明治34年 — 山陽鉄道が全線開通
- 1902 明治35年 — 佐波村と三田尻村が合併し、防府町誕生
- 1903 明治36年 — 柏木幸助氏が、「柏木ジアスターゼ」を製造販売
- 1905 明治38年 — 三田尻塩務局が設置される
- 1908 明治41年 — 山口県蚕業試験場が西佐波令に創設される(昭和19年4月閉鎖)
- 1909 明治42年 — 防府郵便局内で、電話交換事務が開始され管内加入電話160機が通話を開始
日本専売公社防府製塩試験場設置(昭和35年塩田廃止に伴い閉鎖)
- 1910 明治43年 — 防府電灯(株)が設立され、この年初めて電灯がとる
- 1914 大正 3年 — 三田尻～山口米屋町間で乗合自動車の営業開始
- 1916 大正 5年 — 毛利邸及び庭園が完成
- 1918 大正 7年 — 向島製塩工場(日本専売公社防府工場)設置
(昭和35年塩田廃止に伴い閉鎖)
佐波川大洪水により新橋が流失
- 1919 大正 8年 — 防石鉄道三田尻～上和字間の営業開始
- 1920 大正 9年 — 防石鉄道上和字～堀間が開通
第1回国勢調査
- 1921 大正10年 — 佐波川架橋の「新橋」を鋼橋に架けかえ
- 1926 大正15年 — 中関村が町制を施く
- 1928 昭和 3年 — 三田尻駅構内にあった三田尻機関庫が小郡駅に移転
- 1930 昭和 5年 — 防府郵便局の新庁舎が完成し移転
- 1931 昭和 6年 — 国鉄バス三田尻～山口間の営業開始
- 1933 昭和 8年 — 福島人絹(株)人絹工場設置
(昭和24年7月協和醗酵工業(株)となる)
- 1934 昭和 9年 — 鐘淵紡績(株)防府工場の建設が決定され昭和11年5月から操業開始
(昭和25年7月鐘紡(株)防府工場となる 平成18年4月工場閉鎖)
- 1936 昭和11年 8月 — 防府町・中関町・華城村・牟礼村の二町二村が合併し、25日に市制施行**
- 1938 昭和13年10月 — 防府保健所が県内最初の保健所として開設
- 1939 昭和14年11月 — 西浦村を3日に編入
- 1940 昭和15年 2月 — 市議会議事堂が車塚に完成
- 1941 昭和16年 4月 — 上山満之進氏の寄付により、市立三哲文庫(現防府図書館)開設
NHK防府放送局開局、放送開始
8月 — 佐波川の名橋「舟橋」を廃し、その下手に木橋「本橋」を架橋
- 1942 昭和17年 8月 — 台風による高潮で海岸の堤防が決壊し、大きな被害発生
- 1944 昭和19年 5月 — 防府飛行場に陸軍航空隊設置
- 1945 昭和20年10月 — 占領軍、海軍通信学校及び陸軍飛行場を接收し駐留
- 1947 昭和22年 4月 — 最初の公選市長選挙が行われ、決戦投票の結果、宮地良三氏が市長就任
6・3・3・4制となり、新制中学校が小学校に併設され開校
養護老人ホーム「やはす園」開設



日本専売公社防府製塩試験場設置(明治42年)



佐波川大洪水(大正7年)



向島製塩工場設置(大正7年)

1936 昭和11年
防府市誕生



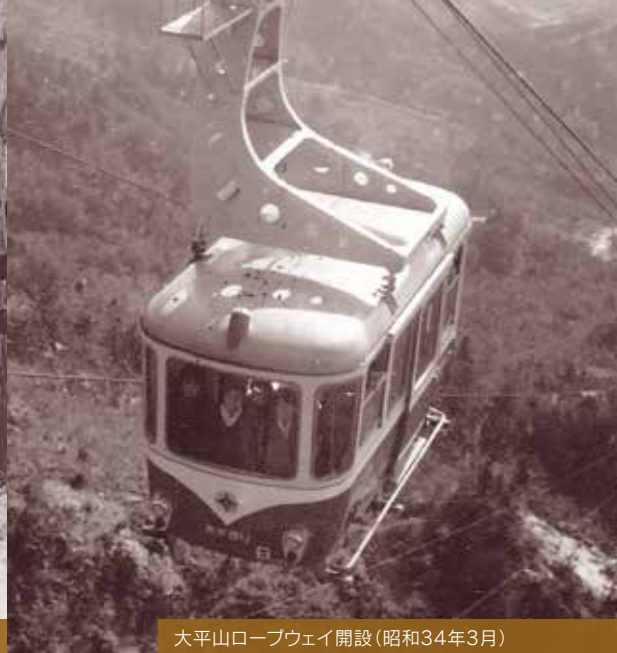
国鉄バス営業開始(昭和6年)



新橋落成(大正10年)



市制施行(昭和11年8月)



大平山ロープウェイ開設(昭和34年3月)

- 1948 昭和23年10月 ○ 野島～三田尻間の連絡船として、「共同丸」就航
- 1949 昭和24年 4月 ○ 車塚の日本医療団山口県中央病院が県に移管され、山口県総合病院として発足
- 9月 ○ 防府競輪場開設
- 1950 昭和25年 3月 ○ 市営野球場完成
- 7月 ○ 市広報第1号発刊
- 8月 ○ 向島錦橋完工
- 1951 昭和26年 4月 ○ 右田村を1日に編入
- 7月 ○ 上水道の給水を一部開始
- 集中豪雨により佐波川水域を中心に未曾有の被害発生
- 1952 昭和27年 4月 ○ 防府天満宮焼失(昭和38年9月再建)
- 8月 ○ 佐波川ダム起工(昭和31年4月完成)
- 11月 ○ 防府市教育委員会設置
- 1953 昭和28年 7月 ○ 佐波川大橋完工
- 9月 ○ 山口県立中央病院が八王子二丁目に新築移転し、開院
- 10月 ○ 第1回防府みなと祭
- 1954 昭和29年 2月 ○ 防府市新庁舎開庁
- 4月 ○ 富海村を1日に編入
- 12月 ○ 航空自衛隊防府基地設置
- 1955 昭和30年 4月 ○ 小野村、大道村を10日に編入
- 1956 昭和31年 2月 ○ 人丸橋完工
- 5月 ○ 大崎橋完工
- 1957 昭和32年 1月 ○ 三田尻百間沖埋立工事開始(昭和46年竣工)
- 11月 ○ 光田健輔氏を迎え名誉市民推挙式、胸像除幕式を挙げる
- 1958 昭和33年11月 ○ 公共下水道事業に着工
- 野島三田尻航路定期船「新共同丸」就航
- 1959 昭和34年 2月 ○ 国道262号線の佐波川架橋「新橋」完成し、3月13日に完工式
- 3月 ○ 大平山ロープウェイ開設
- 6月 ○ 三田尻港が重要港湾に指定
- NHK防府放送局のテレビ中継所が大平山に設置され開局
- 10月 ○ 防府市労働会館落成式(平成9年12月解体)
- 1960 昭和35年 1月 ○ 塩田が全面的に廃止
- 8月 ○ 航空自衛隊防府北基地発足
- 10月 ○ 防府市公会堂落成
- 1961 昭和36年 6月 ○ 国府橋(野崎立体交差・連続立体交差事業により平成4年7月撤去)三田尻港線完工
- 8月 ○ 防府電報電話局の新築局舎完成。新局舎に9月移転し、自動式の電話交換を開始
- 1962 昭和37年10月 ○ 第1回防府産業祭
- 11月 ○ 国鉄三田尻駅を防府駅に改称
- 1963 昭和38年 9月 ○ 「市民の誓い」「市民の歌」が制定され、発表会開催



市議会議事堂完成(昭和15年2月)



防府競輪場開設(昭和24年9月)



航空自衛隊防府基地設置(昭和29年12月)



第1回防府読売マラソン大会開催(昭和45年12月)

- 1963 昭和38年10月 ○ 新しい火葬場が完成し、使用開始
- 第18回国民体育大会秋季大会開催
- 1964 昭和39年 6月 ○ 防石鉄道(株)が鉄道運輸営業(防府～堀間)を廃止
- 11月 ○ 佐波川干拓大道工区の潮止式
- 1965 昭和40年11月 ○ 佐波川干拓西浦工区の潮止式
- 1966 昭和41年 1月 ○ 防府市し尿処理場完成
- 3月 ○ 築地作業所完成
- 佐波小学校前の横断陸橋完成(市内初)
- 4月 ○ 中関・三田尻港が貿易港に指定
- 佐波川が一級河川に指定
- 7月 ○ 日本専売公社防府原料工場が百軒埋立地に進出決定、昭和44年10月から操業開始
(元日本たばこ産業(株)防府工場、平成24年3月工場廃止)
- 1967 昭和42年 9月 ○ 右田西目山火災、3日間燃え続く(焼失面積439ha)
- 12月 ○ 防府市ごみ焼却場完成
- 1968 昭和43年 4月 ○ 山口県立防府養護学校開校
- 1969 昭和44年 3月 ○ 市公設青果物卸売市場完成
- 7月 ○ 都市計画法による政令都市に指定
- 赤間大橋完成(連続立体交差事業により平成3年12月撤去)
- 1970 昭和45年 5月 ○ 野島航路に新造船「すおう丸」就航
- 7月 ○ 防府、山口地区(防府、山口、秋穂、小郡、徳地、阿東、秋芳、美東)が広域市町村圏に指定
- 12月 ○ 第1回防府読売マラソン大会開催
- 1971 昭和46年 4月 ○ 山口県立衛生看護学院開校(平成25年3月閉校)
- 防府警察署が市役所前に完成
- 7月 ○ 広島県吉田町と姉妹都市縁組み
- 新佐波山トンネル開通
- 1972 昭和47年 3月 ○ 「やはす園」が牟礼岩畠に完成移転
- 6月 ○ 防府市文化福祉会館完成
- 9月 ○ (財)防府スポーツセンター設立(平成25年3月解散)
- 1973 昭和48年 3月 ○ 市の木に「サングジュ」、花に「サルビア」、花木に「梅」決定
- 1974 昭和49年 3月 ○ (財)防府スポーツセンター体育館完成
- 5月 ○ 市休日診療所オープン
- 9月 ○ 野島に、海水を淡水化する我が国初めての簡易水道完成
- 1975 昭和50年 5月 ○ (財)防府スポーツセンタープール完成、6月オープン
- 10月 ○ 韓国春川市と第1回交歓陸上競技大会を開催
- (財)防府スポーツセンター野球場完成
- 1976 昭和51年 2月 ○ 山口県防府総合庁舎完成
- 1977 昭和52年 2月 ○ 周防国衙跡で緊急発掘調査を開始
- 4月 ○ プリチストン(株)防府工場操業開始



三田尻駅を防府駅に改称(昭和37年11月)



防府スポーツセンター体育館完成(昭和49年3月)



野島簡易水道完成(昭和49年9月)



水道局新庁舎完成(昭和55年4月)

祝 佐波山隧道開通

佐波山隧道



佐波山トンネル開通(昭和48年9月)



新「新橋」開通(昭和53年4月)

- 1978 昭和53年 2月 ○ 公共下水道の供用開始
- 4月 ○ 新「新橋」開通
- 6月 ○ 防府市の人口が11万人を突破
- 1979 昭和54年 1月 ○ 天満宮で「新始式」が100年ぶりに復活
- 3月 ○ 大平山ロープウェイ開設20周年を記念し、「冒険の森」がオープン
- 4月 ○ 新橋の新旧両橋が全面開通
- 5月 ○ 新広域市町村圏に山口・防府地区が指定
- 精神薄弱者の通所授産施設「愛光園」完成
- 山口身障者職業センター完成
- 1980 昭和55年 4月 ○ 水道局の新庁舎完成
- 精神薄弱者更正施設「大平園」完成
- 心身障害児簡易通園施設「なかよし園」完成
- 5月 ○ 青少年問題のよき相談相手「ヤングテレホン防府」スタート
- 1981 昭和56年 3月 ○ 東洋工業(株)が中関工業団地で変速機工場の操業開始(現マツダ(株))
- 4月 ○ 防府サイクリングターミナル完成
- 7月 ○ 新図書館が桑山にオープン
- 12月 ○ 山陽本線防府駅付近連続立体交差事業、駅南地区土地区画整理事業が都市計画決定
- 1982 昭和57年 4月 ○ 野島に本土から上水道が通水
- 8月 ○ 周防国衙跡に史跡公園完成
- 9月 ○ 東洋工業(株)防府工場操業開始(現マツダ(株)防府工場)
- 築地作業所に新しいゴミ焼却場完成
- 10月 ○ 種田山頭火の生誕100年を記念して、山頭火展や句碑を建立
- 1983 昭和58年 3月 ○ 市営墓園(大光寺原霊園)が完成し、分譲を開始
- 「福祉都市」宣言
- 5月 ○ 市身体障害者福祉センター完成
- 県立中央病院が右田大崎へ移転オープン
- 6月 ○ 牟礼新長尾団地分譲開始
- 7月 ○ 天神山森林公園開園
- 1984 昭和59年 4月 ○ 市保健センター完成
- 野島三田尻航路定期船「のしま」就航
- 1985 昭和60年 4月 ○ 栄町商店街の「カリヨン通り」完成
- 9月 ○ 新築地町に魚市場が移転オープン
- 1986 昭和61年 3月 ○ 山陽自動車道(徳山西～防府東インター)開通
- 5月 ○ 野島漁業集落排水処理施設供用開始
- 8月 ○ 防府中高年齢労働者福祉センター(サンライフ防府)が完成、9月から供用開始
- 10月 ○ 西佐波緑地完成
- 11月 ○ 防府貨物駅開業



新図書館オープン(昭和56年7月)



山陽自動車道開通(昭和61年3月)



三田尻大橋完成(昭和62年3月)



中国・九州北部豪雨による被害(平成21年7月)



防府市まちの駅「うめてらす」オープン(平成22年4月)



防府市体育館「ソルトアリーナ防府」オープン(平成22年5月)

- 1987 昭和62年 3月 ○ 三田尻大橋開通
- 12月 ○ 山陽自動車道(防府西IC~山口JC)開通
- 天神祭に「天神おんな神輿」が登場
- 1988 昭和63年 2月 ○ 新しい本橋完工
- 11月 ○ 防府バイパス全線開通
- 1989 平成 元年 4月 ○ 市公設青果物地方卸売市場完成
- 1990 平成 2年 4月 ○ 山口・防府地域工芸地場産業振興センター(デザインプラザHOFU)完成
- 9月 ○ 防府市陸上競技場完成(11月に完工式)
- 1991 平成 3年 3月 ○ 中関トンネル開通
- 9月 ○ 台風19号が直撃、最大瞬間風速58.1mを記録
- 10月 ○ 韓国江原道春川市と姉妹都市提携
- 1992 平成 4年 5月 ○ 三田尻塩田記念公園(現三田尻塩田記念産業公園)開園
- 1993 平成 5年 5月 ○ 米国ミシガン州モンロー市と姉妹都市提携
- 10月 ○ 防府市武道館完成
- 1994 平成 6年 5月 ○ JR新防府駅が供用開始され、鉄道高架が全線開通
- 9月 ○ し尿処理場完成
- 10月 ○ ほうふふるさと大使を委嘱
- 1995 平成 7年 1月 ○ 阪神淡路大震災被災者への支援活動実施
- 12月 ○ 高規格救急自動車の運用開始
- 1996 平成 8年 2月 ○ 防府駅付近連続立体交差事業竣工式、鉄道記念広場開場式及び時空の樹(ときのみ)の除幕式
- 12月 ○ 防府市一般廃棄物最終処分場完成
- 1998 平成10年 3月 ○ 野島三田尻航路定期船「ニューのしま」就航
- 4月 ○ 青少年科学館「ソラール」完成
- 10月 ○ 地域交流センター「アスピラート」完成
- 1999 平成11年 4月 ○ 大平山市民農園開園
- 2000 平成12年 3月 ○ スケートスペース770完成
- 10月 ○ 国分寺金堂の再建に係わる大工道具発見
- 生涯学習都市宣言
- 2001 平成13年10月 ○ 大相撲防府場所開催
- 2002 平成14年 4月 ○ 銀座商店街の空き店舗を利用して、観光情報館「コア銀座」開館
- 10月 ○ 都市景観条例施行
- 2003 平成15年 2月 ○ まちづくり活動拠点施設「天神ピア」開館
- 3月 ○ 新消防庁舎供用開始
- 4月 ○ 防府市斎場「悠久苑」オープン
- 7月 ○ 主要県道防府環状線(防府湾岸道路)開通
- 11月 ○ 市民活動支援センター開館(天神ピア2F)
- 2004 平成16年 3月 ○ 新JR大道駅舎供用開始
- 4月 ○ 小野小学校新校舎供用開始



天神祭に「天神おんな神輿」が登場(昭和63年12月)



米国ミシガン州モンロー市と姉妹都市提携(平成5年5月)



防府市斎場「悠久苑」オープン(平成15年4月)



小野小学校新校舎完成(平成16年4月)



英雲荘一般公開開始(平成23年9月)



市クリーンセンターに新廃棄物処理施設が完成(平成26年3月)

- 2004 平成16年 8月 ○ 防府市・春川市交流30周年記念事業として市民交流団が姉妹都市春川市訪問(183名)
- 10月 ○ 大平山山頂公園開園
- 11月 ○ 国分寺平成の大修理が完成し、落慶法要挙行
- 2005 平成17年 1月 ○ 防府市史全9巻完成
- 8月 ○ 小野大橋完工
- 11月 ○ 姉妹都市春川市より市民交流団来訪(202名)
- 2006 平成18年 7月 ○ 市街地再開発ビル「ルルサス防府」竣工
- 市民活動支援センターがルルサス2階へ移転オープン
- 9月 ○ 防府市学校給食センター中学校給食開始
- 11月 ○ 市立図書館がルルサス防府に移転オープン
- 2008 平成20年 4月 ○ 防府市文化財郷土資料館開館
- 2009 平成21年 4月 ○ 同報系防災行政無線開局
- 7月 ○ 中国・九州北部豪雨により市内で甚大な被害が発生
- 2010 平成22年 4月 ○ 防府市自治基本条例施行
- 防府市まちの駅「うめてらす」オープン
- 5月 ○ 防府市体育館「ソルトアリーナ防府」オープン
- 7月 ○ 市民防災の日制定
- 2011 平成23年 3月 ○ 東日本大震災の被災地支援開始
- 7月 ○ 「宮市本陣兄部家」が火災で焼失
- 9月 ○ 英雲荘一般公開開始
- 10月 ○ 「おいでませ山口国体・山口大会」開催
- 2012 平成24年 5月 ○ 都市再生整備計画「宮市・国衛地区」がまち交大賞受賞
- 11月 ○ 野島三田尻航路新造船「レインボーあかね」就航
- 2013 平成25年 5月 ○ 米国ミシガン州モンロー市との姉妹都市提携20周年記念行事開催
- 公立小中学校で「土曜授業」開始
- 11月 ○ 市主催による「防府市戦没者追悼式」挙行
- 2014 平成26年 3月 ○ 市クリーンセンターに新廃棄物処理施設完成
- 7月 ○ 防府市スポーツセンタープールがオープン
- 10月 ○ 市体育協会結成90周年を記念し、「大相撲防府場所」を開催
- 2015 平成27年 1月 ○ ほうふ花燃ゆ大河ドラマ館「文の防府日和。」オープン
- 3月 ○ 大平山ロープウェイ廃止
- 新大崎橋完工
- 4月 ○ 富海小学校と富海中学校で小中一貫教育を導入
- 7月 ○ 右田小学校新校舎完成
- 潮彩市場防府において「みなとオアシス三田尻」登録記念式典開催
- 10月 ○ 潮彩市場防府が「道の駅」として開業
- 「ねんりんピックおいでませ!山口2015」開催
- 2016 平成28年 3月 ○ 高機能消防指令センター運用開始



「レインボーあかね」就航(平成24年11月)



スポーツセンタープールオープン(平成26年7月)



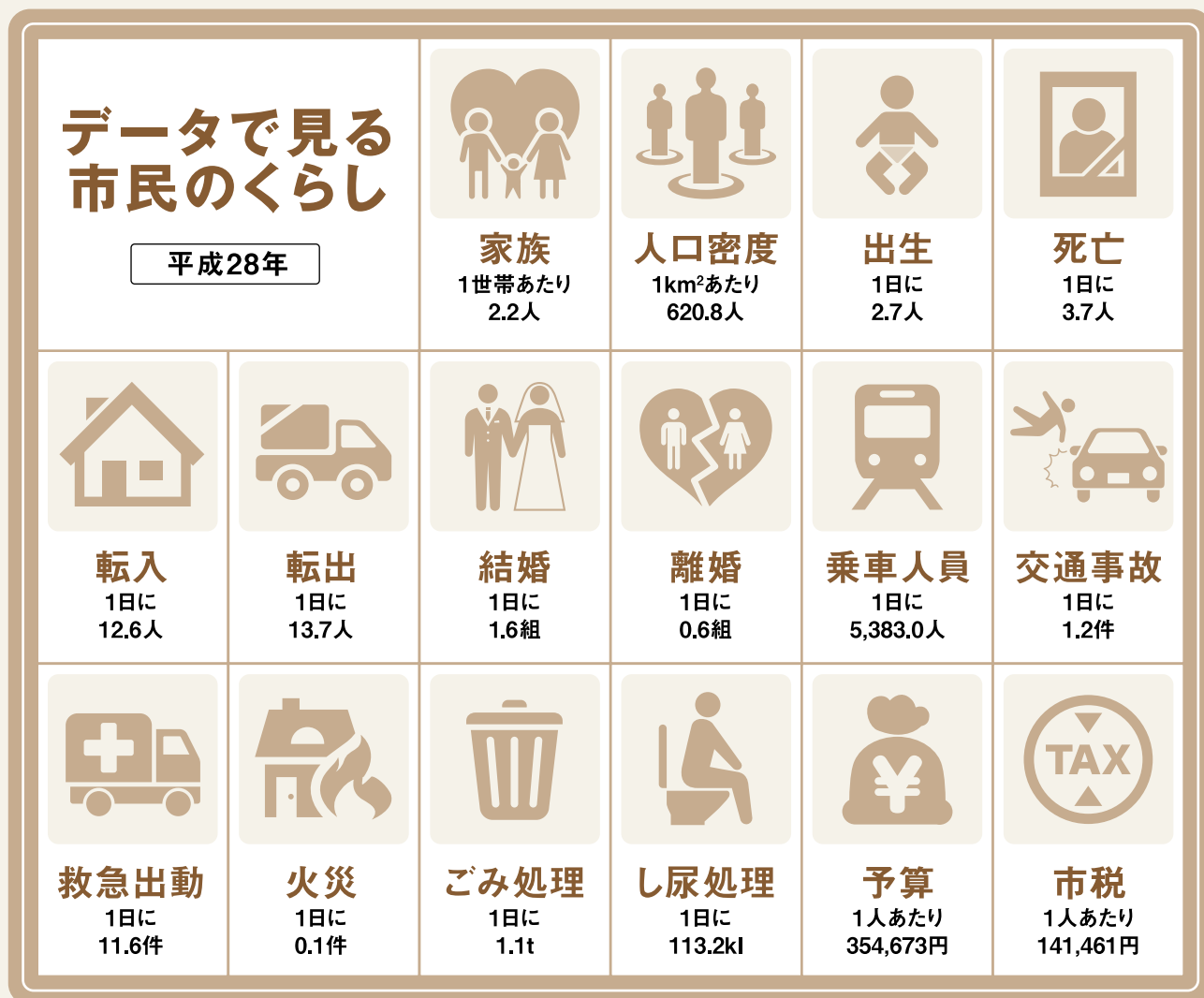
潮彩市場防府が「道の駅」として開業(平成27年10月)

統計・資料

DATA of HOFU City

■データで見る市民の暮らし

1 土地・自然	P45
2 人口	P46
3 産業・経済	P47
4 生活・環境	P48
5 社会・福祉	P49
6 教育・文化	P50
7 行政・財政	P51
8 文化財一覧	P52

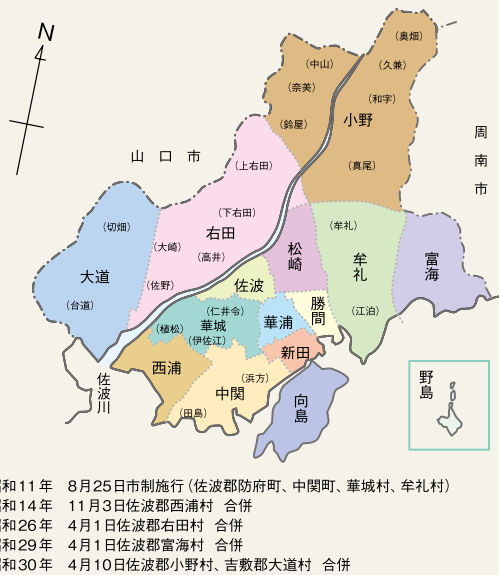


1 | 土地・自然

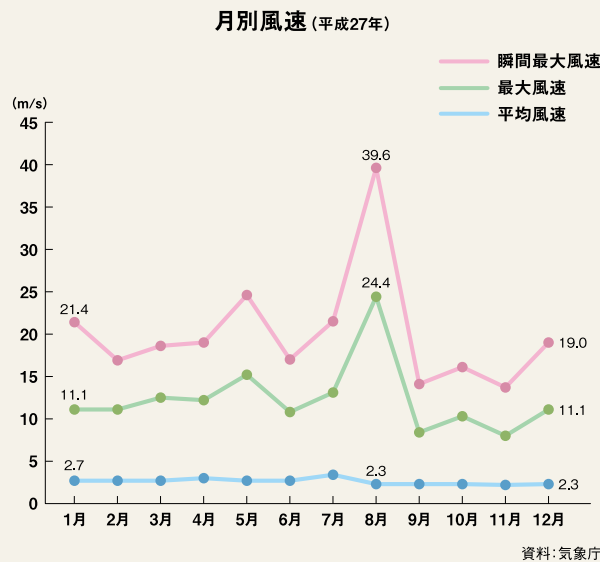
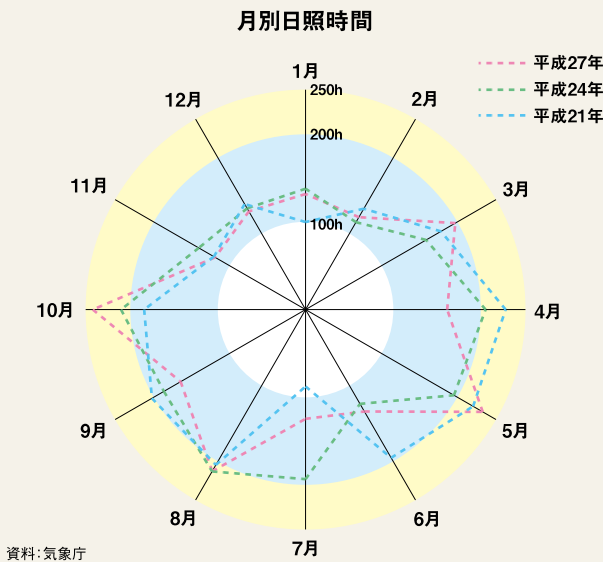
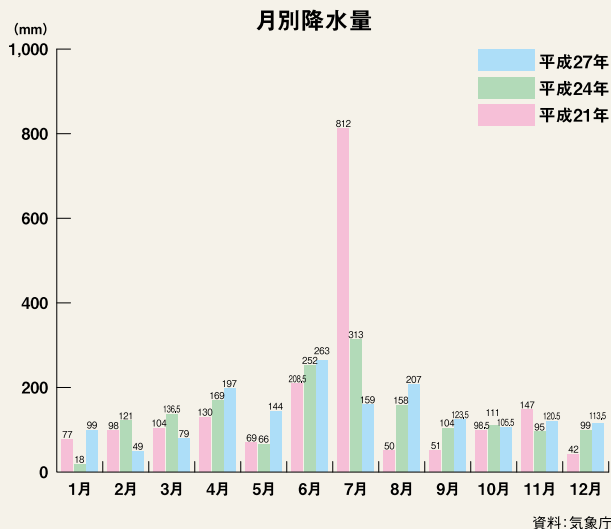
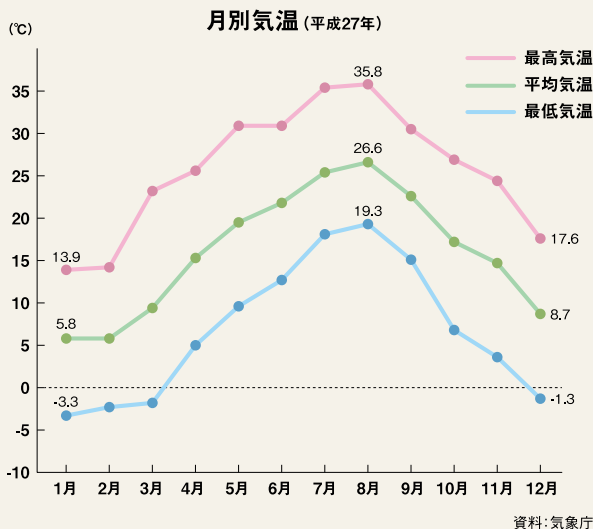
位置および面積

方位	極限経緯度		地点	
本土	東端	東経131°40'26"	北緯34° 2'41"	富海大浜地先
	西端	〃 131°27'19"	〃 34° 3'44"	台道大原地先
	南端	〃 131°34' 2"	〃 33°59'11"	向島タズノ鼻
	北端	〃 131°38'27"	〃 34° 9'38"	奥畑根峠山地先
野島	南端	東経131°41'42"	北緯33°56' 6"	定 兼 鼻
	北端	〃 131°42' 4"	〃 33°57'34"	沖 島
<p>〈広ぼう〉 本土 東西 約20.1km 野島 南北 約2.8km 南北 約20.4km</p> <p>面積 188.59km² (平成27年10月1日)</p> <p>資料:国土地理院・市総務課</p>				

防府市の行政区域略図

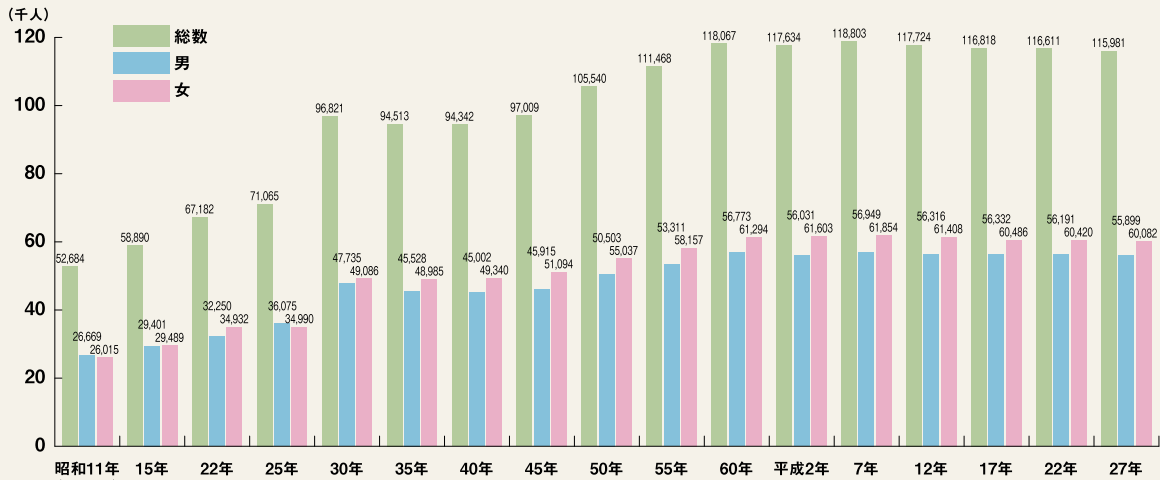


気象



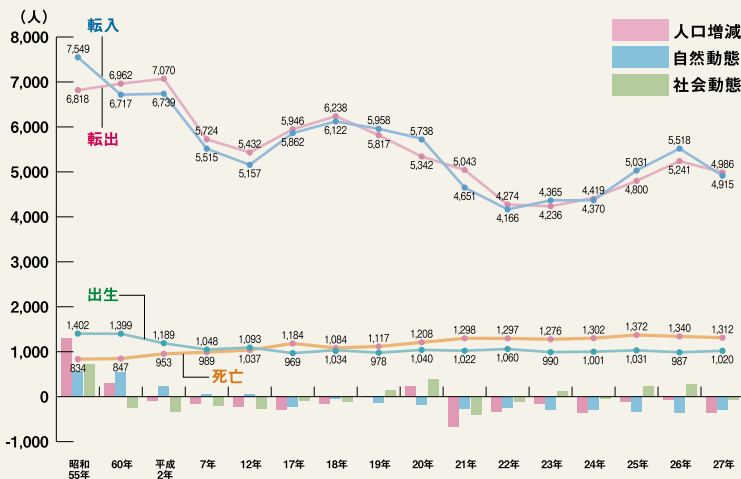
2 | 人口

人口の推移 (市制施行年～国勢調査)



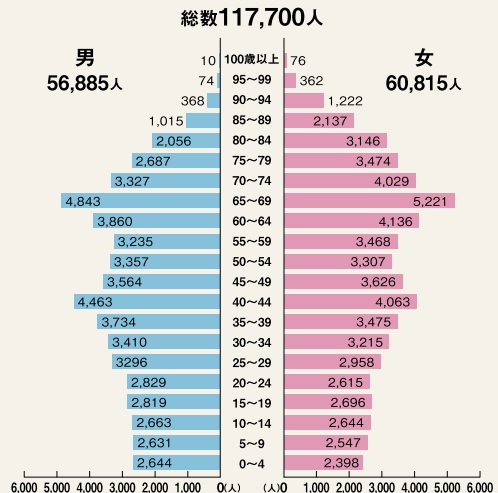
資料: 国勢調査・市市民課

人口動態の推移



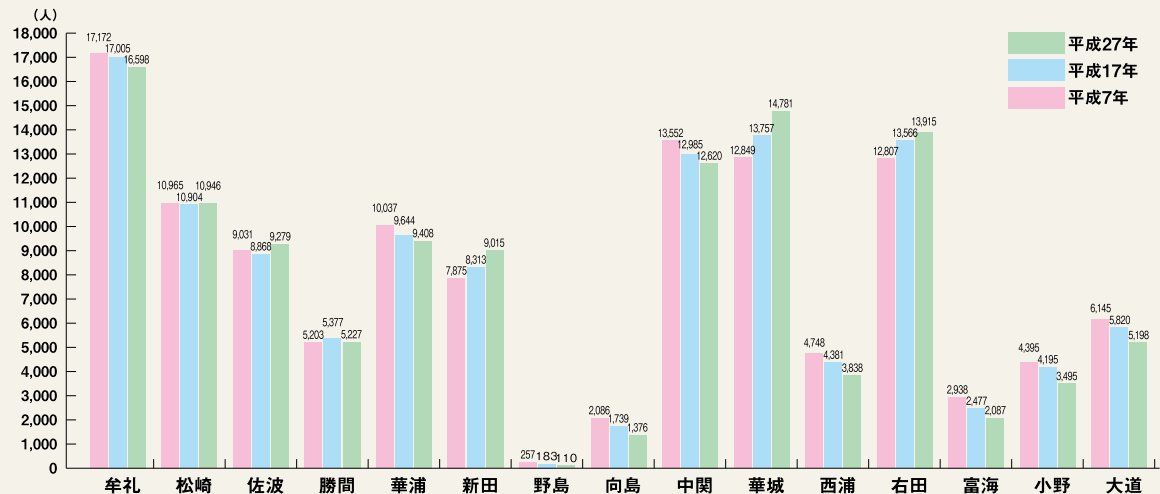
資料: 市市民課・山口県人口移動統計調査

人口ピラミッド (平成28年1月1日)



資料: 市市民課

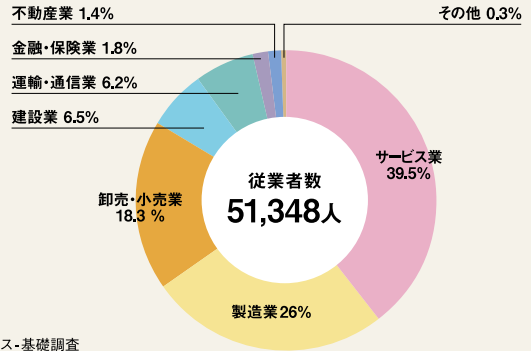
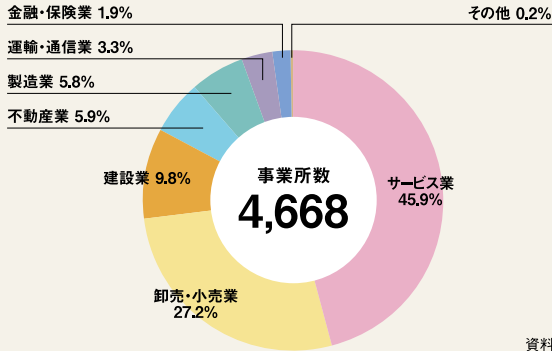
地域別人口 (各年9月30日)



資料: 市市民課

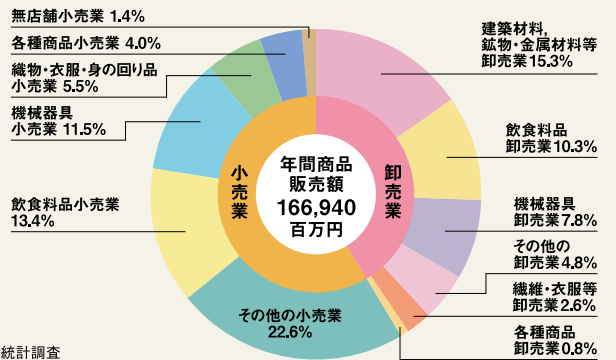
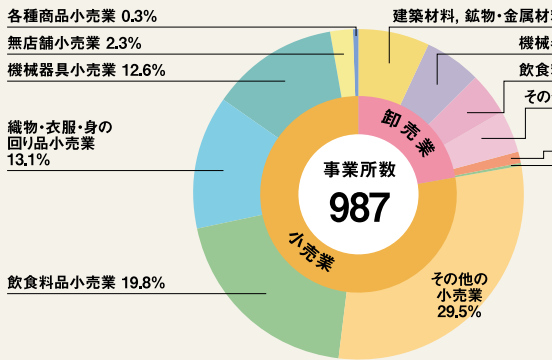
3 | 産業・経済

事業所 産業（大分類）別事業所数及び従業者数（民間）（平成26年7月1日現在）



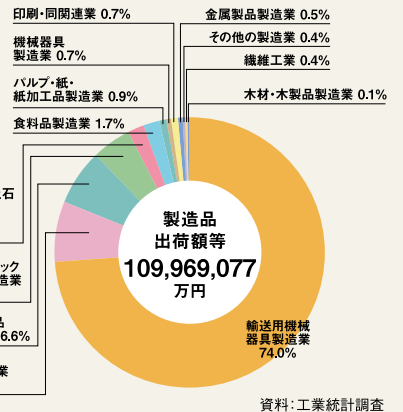
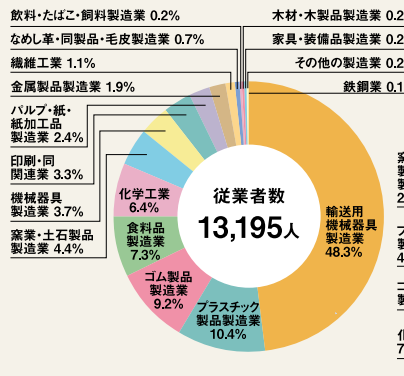
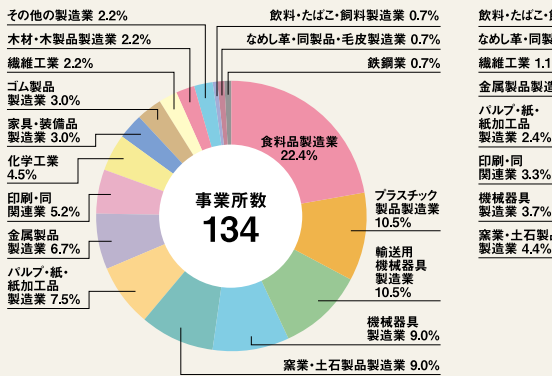
資料：平成26年経済センサス-基礎調査

商業 産業（小分類）別事業所数、及び年間商品販売額（平成26年7月1日）



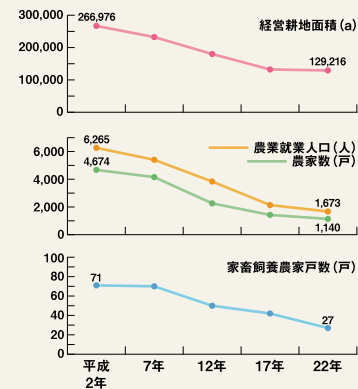
資料：商業統計調査

工業 産業（中分類）別事業所数、従業者数及び製造品出荷額等（平成26年12月31日）



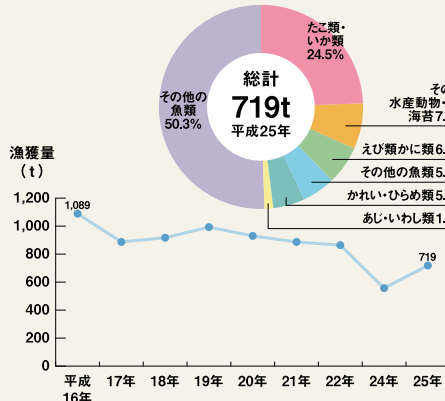
資料：工業統計調査

農業 販売農家



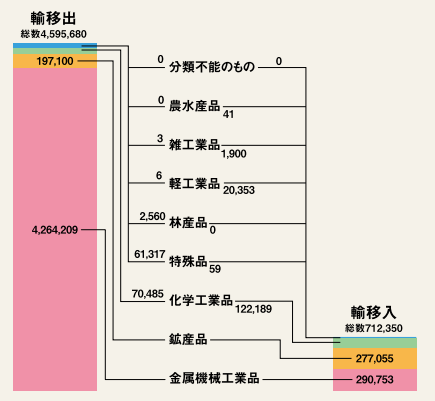
資料：農林業センサス・県畜産課「山口県畜産調査票」・山口県統計年鑑

水産業 海面漁業漁獲量の推移と魚種別割合



資料：中国四国農政局山口農政事務所「山口農林水産統計年報」

貿易 品目別海上貨物輸送量（平成25年）（単位：t）

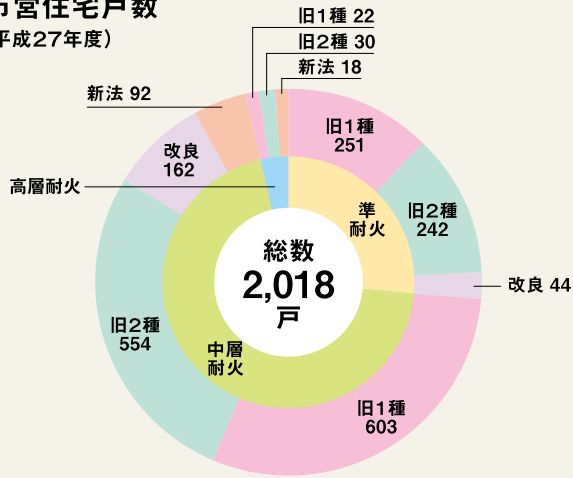


資料：山口県統計年鑑 ※自動車航送船の車両は除く。

4 | 生活・環境

住宅

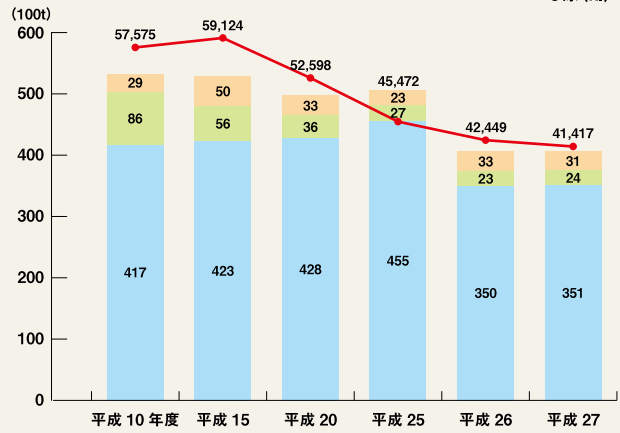
市営住宅戸数
(平成27年度)



資料:市建築課

衛生

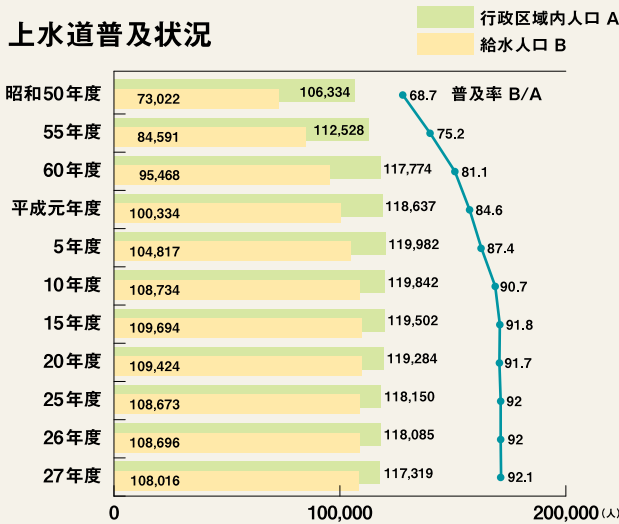
ごみ・し尿収集処理状況



資料:市クリーンセンター

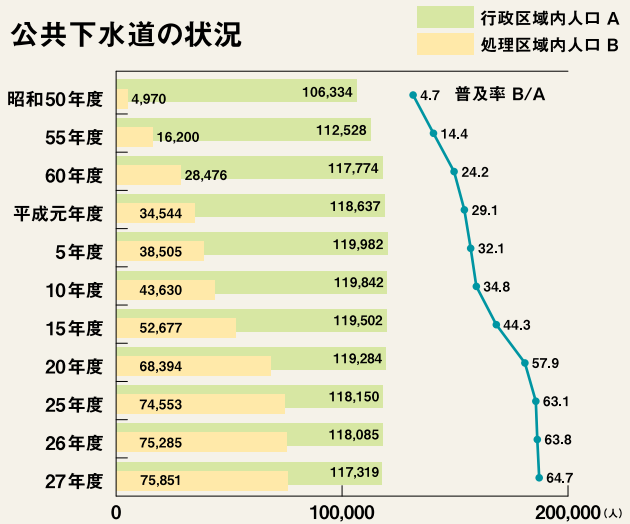
水道

上水道普及状況



資料:上下水道局経営企画課

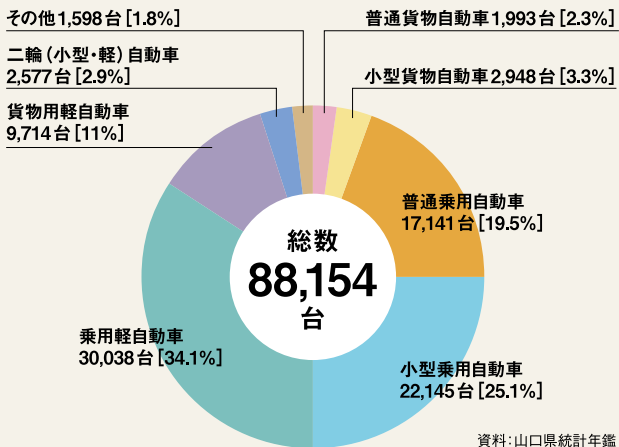
公共下水道の状況



資料:上下水道局経営企画課

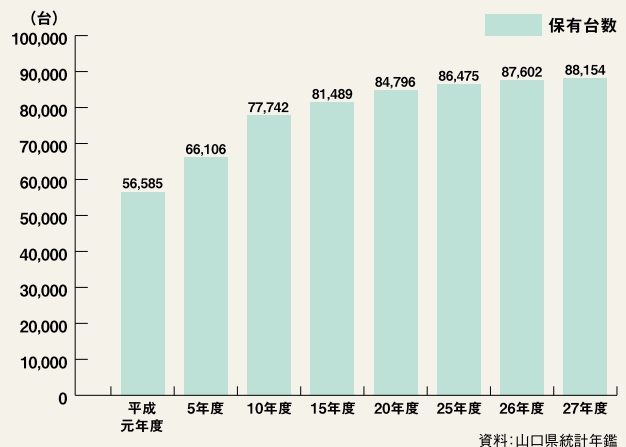
運輸

自動車保有台数 (平成27年3月31日)



資料:山口県統計年鑑

自動車保有台数推移 (各年3月31日)

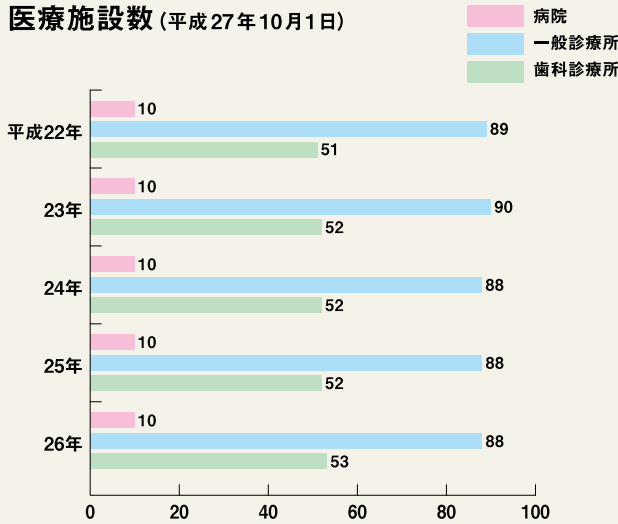


資料:山口県統計年鑑

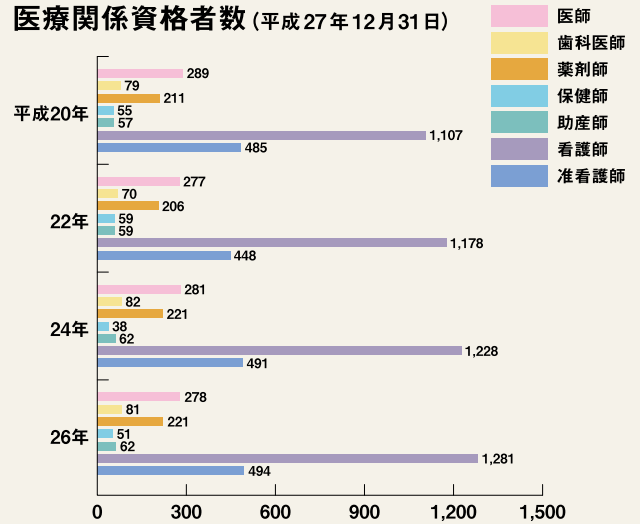
保健 医療施設数及び医療関係資格者数

資料：保健統計年報

医療施設数 (平成27年10月1日)

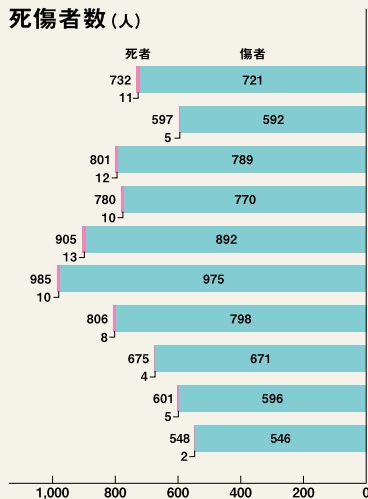


医療関係資格者数 (平成27年12月31日)

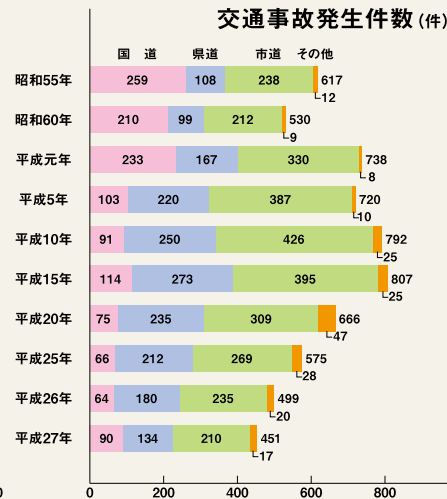


災害 交通事故発生件数および死傷者数

死傷者数 (人)

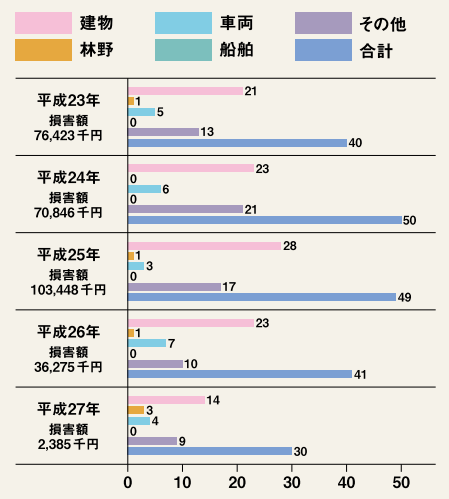


交通事故発生件数 (件)



資料：山口県警察本部交通企画課・山口県統計年鑑

火災発生状況

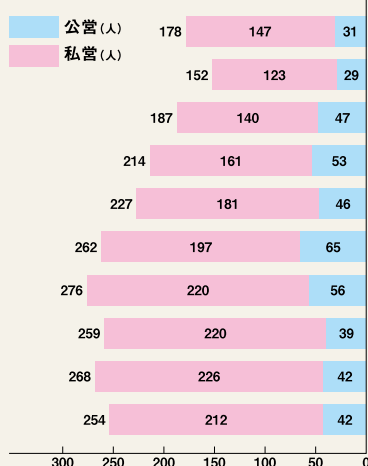


資料：市消防本部

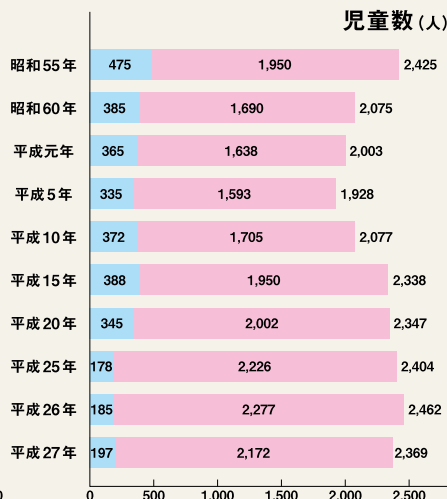
福祉 保育所(園)の状況

施設数 (平成27年度末) 総数22 公営3 私営19

保育士数 (人)



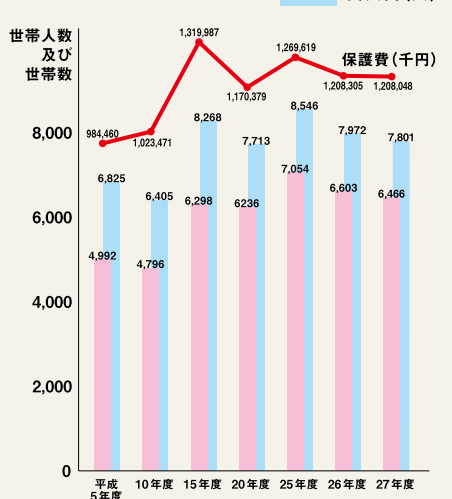
児童数 (人)



資料：市子育て支援課

生活保護状況

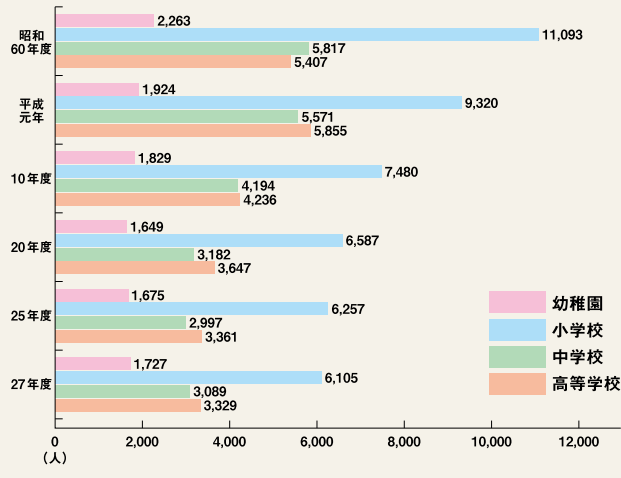
実世帯(戸) 実人員(人)



資料：市社会福祉課

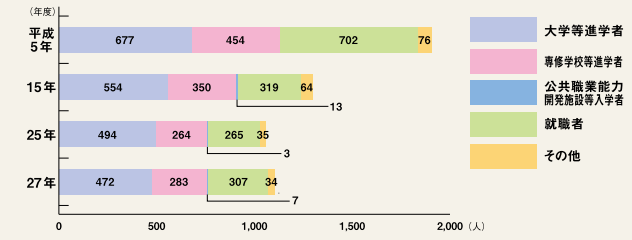
教育

園児・児童数・生徒数の推移 (各年5月1日)



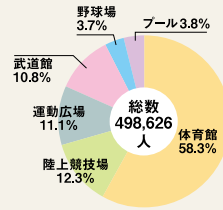
高等学校卒業後の進路状況推移

注) 3月卒業者の同年5月1日現在の進路状況



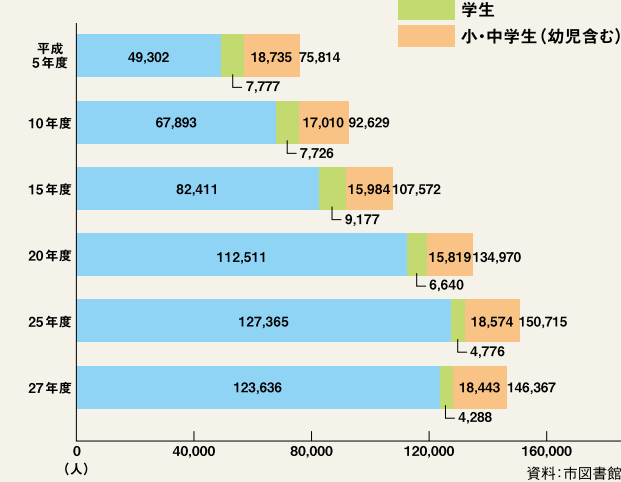
体育施設利用状況

平成27年

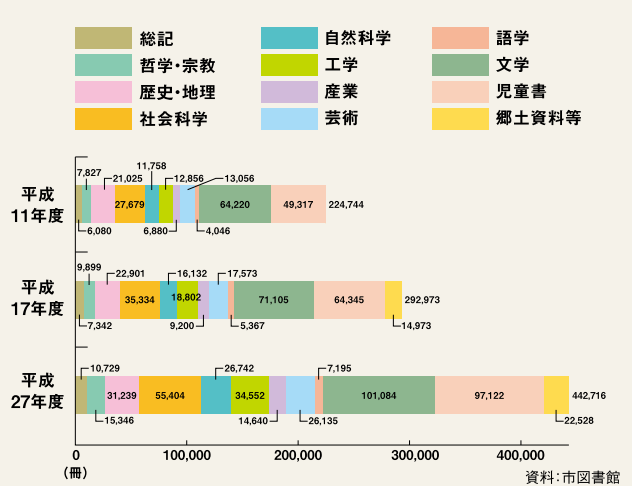


文化

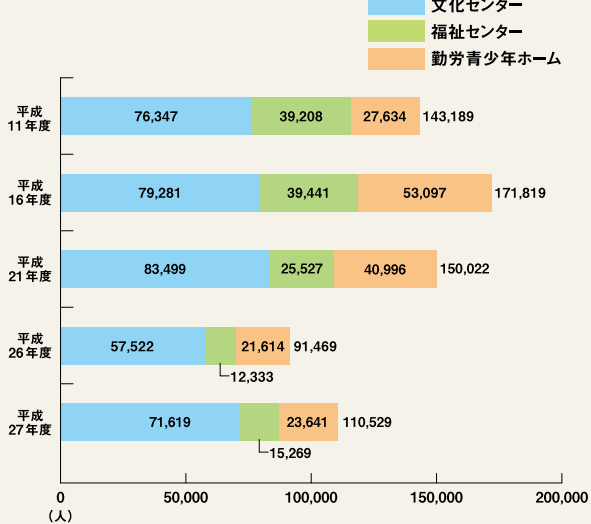
図書館利用状況



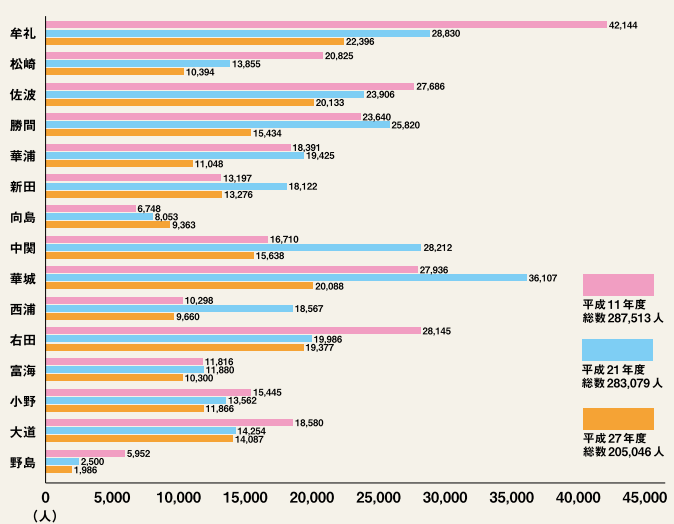
図書館蔵書数



公民館等利用状況

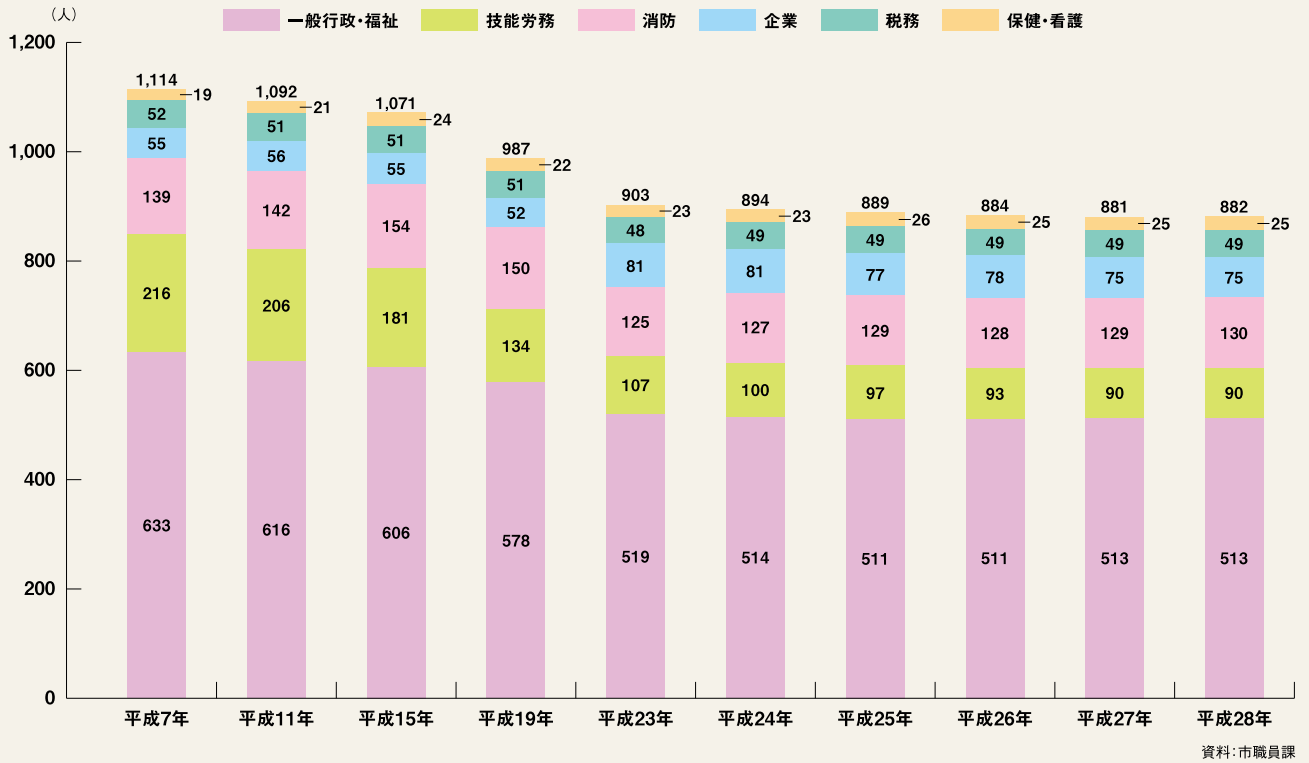


公民館別利用状況

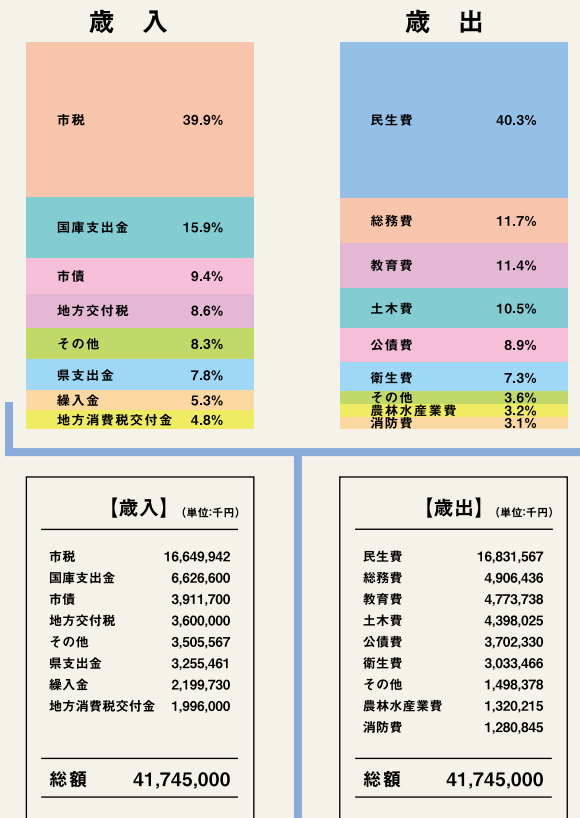


行政

市職員数 (各年4月1日)

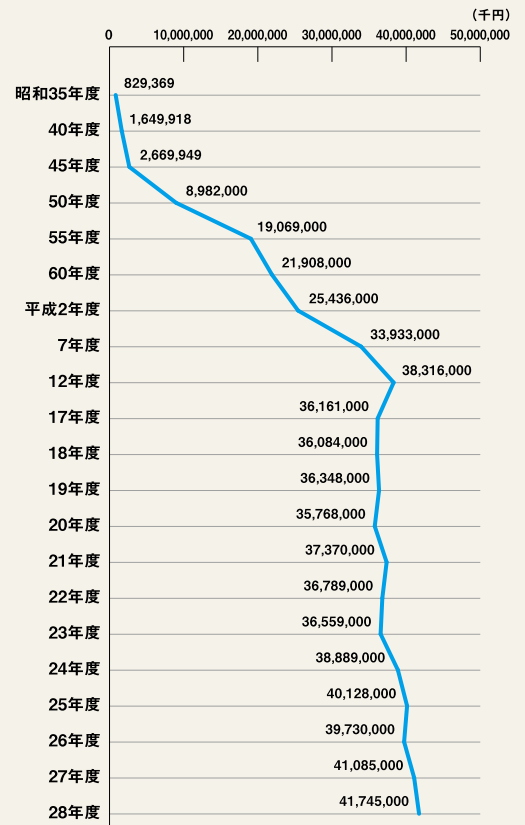


財政 平成28年度当初予算概要 (一般会計)



資料:市財政課

一般会計当初予算規模の推移



8 | 文化財一覽

指定文化財・登録文化財及び重要美術品件数

分類	国指定文化財			県指定文化財			市指定文化財			
	指定区分	種別	件数	指定区分	種別	件数	指定区分	種別	件数	
有形文化財	重要文化財	国宝	建造物	0	有形文化財	建造物	3	有形文化財	建造物	4
			絵画	1			絵画		3	
			工芸品	2			彫刻		24	
			書跡	2			工芸品		7	
	重要文化財	重要文化財	建造物	2		建造物	3		建造物	4
			絵画	2		絵画	1		絵画	3
			彫刻	8		彫刻	3		彫刻	24
			工芸品	11		工芸品	2		工芸品	7
			書跡	5		書跡	0		書跡	1
			典籍	0		典籍	4		典籍	1
			古文書	2		古文書	4		古文書	0
			考古資料	1		考古資料	1		考古資料	4
			歴史資料	1		歴史資料	4		歴史資料	3
			無形文化財	重要無形文化財		芸能	0		無形文化財	芸能
工芸	0	工芸			0	工芸	0			
民俗文化財	重要民俗文化財	有形	3	民俗文化財	有形	0	民俗文化財	有形	2	
		無形	0		無形	1		無形	3	
記念物	特別天然記念物	0								
	史跡	5	史跡	2	史跡	7				
	名勝	1	名勝	0	名勝	0				
	天然記念物	3	天然記念物	4	天然記念物	5				
総数142	合計	49	合計	29	合計	64				

重要美術品件数

工芸品	書跡	合計
4	14	18

登録有形文化財

登録有形文化財	10
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として選択されたもの	1

資料：市文化財課

国指定文化財

平成28年4月1日現在 資料：市文化財課

区分	種類	名称	所有者等指定年月日	所在の場所
国宝	絵画	紙本墨画淡彩 四季山水図 雪舟筆	毛利報公会 S26. 6.9	多々良一丁目
		鉄宝塔 (水晶五輪塔共)	阿弥陀寺 S29. 3.20	牟礼上坂本
	工芸品	菊造腰刀 刀身無銘伝当麻	毛利報公会 S27. 3.29	多々良一丁目
		書跡	紙本墨書 古今和歌集 卷第八 (高野切本)	毛利報公会 S26. 6.9
重要文化財	建造物	国分寺金堂	国分寺 H 1. 9. 2	国分寺町
		旧毛利家本邸	毛利報公会 H23.11.29	多々良一丁目
	絵画	紙本著色 松崎天神縁起 (箱入)	防府天満宮 S25. 8.29	松崎町
		紙本著色 毛利元就像	毛利報公会 S25. 8.29	多々良一丁目
	彫刻	木造 大日如来坐像	防府天満宮 S25. 8.29	松崎町

区分	種類	名称	所有者等指定年月日	所在の場所
重要文化財	彫刻	木造 重源坐像	阿弥陀寺 S25. 8.29	牟礼上坂本
		木造 四天王立像	国分寺 S25. 8.29	国分寺町
		木造 阿弥陀如来坐像	国分寺 S25. 8.29	国分寺町
		木造 日光菩薩立像 月光菩薩立像	国分寺 S25. 8.29	国分寺町
		木造 金剛力士立像	阿弥陀寺 S31. 6.28	牟礼上坂本
		木造 獅子頭	防府天満宮 H 4. 6.22	松崎町
		木造 薬師如来坐像 (金堂安置) 附 木造仏手	国分寺 H11. 6. 7	国分寺町
	工芸品	金銅宝塔	防府天満宮 S25. 8.29	松崎町
		太刀 銘備前国□□(伝 友成)	毛利報公会 S25. 8.29	多々良一丁目
		浅黄系威復取鑑 兜付	防府天満宮 S28.11.14	松崎町
		浅黄系威鑑	防府天満宮 S34. 6.27	松崎町
		梵鐘	防府天満宮 S37. 2. 2	松崎町
		色々威腹巻 兜・大袖・喉輪付	毛利報公会 S39. 1.28	多々良一丁目
		紙本墨書 刀絵図	毛利報公会 S39. 5.26	多々良一丁目
能装束 紅萌葱地山道菊文片身替唐織		毛利報公会 S45. 5.25	多々良一丁目	
紅地桐文散錦直垂		毛利報公会 S46. 6.22	多々良一丁目	
紫韋威鑑		防府天満宮 S47. 5.30	松崎町	
松藤蔭絵文台規箱		防府天満宮 S55. 6. 6	松崎町	
書跡		紙本墨書 阿弥陀寺田畠注文並免除状	阿弥陀寺 S25. 8.29	牟礼上坂本
		紺紙金泥 般若心経後奈良院宸翰	国分寺 S25. 8.29	国分寺町
		紙本墨書 周防国阿弥陀寺田畠注文 (正治二年十月日)	個人 S25. 8.29	国衛三丁目
		紙本墨書 東大寺領周防国宮野庄田畠等立券文 (建久六年九月日)	個人 S25. 8.29	国衛三丁目
		紙本墨書 後深草天皇宸翰御消息 (十二月廿五日)	毛利報公会 S11. 5. 6	多々良一丁目
古文書		毛利家文書	毛利報公会 S48. 6. 6	多々良一丁目
	周防国一宮造替神殿宝物等目録	玉祖神社 S51. 6. 5	大崎居合	
考古資料	鉄印 東大寺権印	阿弥陀寺 S25. 8.29	牟礼上坂本	
	歴史資料 大内氏勅合貿易印等関係資料	毛利報公会 S54. 6. 6	多々良一丁目	
重要有形民俗文化財	江崎のまるきぶね	山口県 S32. 6. 3	お茶屋町 英雲荘	
	製塩用具	防府市 S34. 5. 6	お茶屋町 英雲荘	
	阿弥陀寺の湯屋	阿弥陀寺 S47. 8. 3	牟礼上坂本	
記念物	史跡	敷山城跡	防府市 S10. 6. 7	牟礼敷山
		周防国衛跡	防府市ほか S12. 6.15	国衛、警固町、多々良
		大日古墳	防府市 S23. 1.14	高井大日
		周防国分寺旧境内	国分寺 S32. 7.10	国分寺町
	名勝	萩往還	防府市ほか H 1. 9.22	防府、山口、萩
		毛利氏庭園	毛利報公会 H 8. 3.29	多々良一丁目
		天然記念物	エヒメアヤマ自生南限地帯	防府市 T14.10. 8
向島タヌキ生息地	防府市ほか T15. 2.24		向島全島	
登録有形文化財	黒柏鷲	—	S26. 6. 9	山口県・島根県
		防府天満宮本殿・幣殿・拜殿	防府天満宮 H21. 1. 8	松崎町
	三田尻塩田旧越中屋釜煙突	防府市 H24. 8.13	浜方	
	春風楼	防府天満宮 H24. 8.13	松崎町	
	山内家住宅主屋	個人 H26. 4.25	栄町二丁目	
	山内家住宅蔵	個人 H26. 4.25	栄町二丁目	
	山内家住宅男衆部屋	個人 H26. 4.25	栄町二丁目	
	山内家住宅女衆部屋	個人 H26. 4.25	栄町二丁目	
	山内家住宅納屋	個人 H26. 4.25	栄町二丁目	
	山内家住宅門及び塙	個人 H26. 4.25	栄町二丁目	
清水家住宅主屋	個人 H27. 3.26	富海東町		

県指定文化財

平成28年4月1日現在 資料:市文化財課

区分	種類	名称	所有者等 指定年月日	所在の場所
有形文化財	建造物	周防国分寺楼門	国分寺 S41.6.10	国分寺町
		護国寺笠塔婆	護国寺 S51.11.24	本橋町
		防府天満宮の石大鳥居	防府天満宮 S59.11.2	松崎町
	絵画	絹本着色 熊野本地仏曼荼羅図	国分寺 H15.12.19	国分寺町
		木造 阿弥陀如来立像	国分寺 S41.6.10	国分寺町
	彫刻	金銅 毘盧舍那仏坐像 (寺伝 大日如来坐像)	国分寺 H1.3.28	国分寺町
		金銅 誕生釈迦仏立像	国分寺 H1.3.28	国分寺町
	工芸品	漆絵枝菊椀(大内椀)	毛利報公会 S59.4.10	多々良一丁目
		金装飾太刀拵	毛利報公会 S59.4.10	多々良一丁目
	典籍	里村紹巴連歌学書 (毛利家伝本)	毛利報公会 S59.4.10	多々良一丁目
		幸若流舞之本 (毛利吉就所持本)	毛利報公会 S59.4.10	多々良一丁目
		毛利元就詠草連歌	毛利報公会 S59.4.10	多々良一丁目
		版本 大般若経	阿弥陀寺 H6.1.25	牟礼上坂本
	古文書	阿弥陀寺文書	阿弥陀寺 S46.3.30	牟礼上坂本
		周防国分寺文書	国分寺 S53.3.31	国分寺町
		防府天満宮文書	防府天満宮 S53.12.22	松崎町
	考古資料	兄部家文書	個人 S56.3.24	宮市町
		井上山(桑山西峯)経塚 出土品	防府市・個人 H1.10.24	毛利博物館内
	歴史資料	毛利元就関係資料	毛利報公会 S59.4.10	多々良一丁目
		毛利隆元関係資料	毛利報公会 S59.4.10	多々良一丁目
毛利輝元関係資料		毛利報公会 S59.4.10	多々良一丁目	
毛利秀就関係資料		毛利報公会 S59.4.10	多々良一丁目	
無形民俗文化財	玉祖神社の占手神事	神事保存会 S51.11.24	大崎居合	
記念物	史跡	野村望東尼終焉の宅跡及び墓	個人・防府市 S41.6.10	三田尻本町・桑山
		防府天満宮大専坊跡	防府天満宮 S62.10.27	松崎町
	天然 記念物	防府市中浦の緑色片岩	防府市 S45.2.27	田島中浦
		老松神社のクスノキ	老松神社 S52.11.11	お茶屋町
		若月家の臥竜松	個人 H2.3.30	大崎江良
		防府市向島の寒桜	防府市 H23.4.8	向島

市指定文化財

平成28年4月1日現在 資料:市文化財課

区分	種類	名称	所有者等 指定年月日	所在の場所
有形文化財	建造物	阿弥陀寺仁王門	阿弥陀寺 S44.3.31	牟礼上坂本
		枳築らんかん橋	防府市 S46.3.27	田島・浜方
		宇佐八幡宮本殿 附棟札一枚 宇佐八幡宮拜殿 附棟札一枚	宇佐八幡宮 H15.8.29	鈴屋
		旧毛利家本邸祖霊社	個人 H25.3.11	多々良一丁目
	絵画	麻本着色 地藏十王図	国分寺 H11.8.6	国分寺町
		紙本着色 毛利元就坐像	太平寺 H20.9.29	上右田
		紙本墨画淡彩 防府真景図	阿弥陀寺 H25.3.11	牟礼上坂本
	彫刻	木造 不動明王立像 毘沙門天立像	極楽寺 S42.9.1	牟礼 木部観音堂
		木造 不動明王立像	国分寺 S43.3.28	国分寺町
		木造 毘沙門天立像	国分寺 S46.3.27	国分寺町
		木造 釈迦如来坐像	徳性寺(真尾自治会) S46.3.27	真尾
		木造 十一面観世音菩薩立像	極楽寺 S56.3.10	牟礼 木部観音堂
		木造 地藏菩薩立像	極楽寺 S56.3.10	岩島二丁目
		木造 人丸大明神坐像	個人 S57.4.5	牟礼上敷山
		木造 阿難尊者立像 迦葉尊者立像	極楽寺 S57.4.5	岩島二丁目

区分	種類	名称	所有者等 指定年月日	所在の場所
有形文化財	彫刻	木造 子安観世音大士半跏像 子安観世音菩薩半跏像	極楽寺 S57.4.5	岩島二丁目
		木造 観世音菩薩立像 勢至菩薩立像	定念寺 S57.4.5	宮市町
		木造 子安観世音菩薩半跏像	善門寺 S57.4.5	奈美
		木造 荒神立像	善門寺 S57.4.5	奈美
		木造 十一面観世音菩薩坐像	阿弥陀寺 S57.4.5	牟礼上坂本
		石造 地藏菩薩半跏像	阿弥陀寺 S58.4.1	牟礼上坂本
		木造 十一面観世音菩薩立像	阿弥陀寺 S58.4.1	牟礼上坂本
		木造 薬師如来坐像	中山自治会 S59.11.2	中山
		木造 阿弥陀如来坐像	徳性寺 S62.1.5	上右田
		熊野神社の獅子頭	熊野神社 S62.9.21	上右田
	工芸品	金銅 毘盧舍那仏坐像	満願寺 H1.8.18	松崎町
		金銅 菩薩形立像	満願寺 H1.8.18	松崎町
		木造 地藏菩薩坐像 不動明王立像 毘沙門天立像	天徳寺 H11.8.6	下右田
		金銅 菩薩形立像	防府市 H24.5.8	防府市文化財 郷土資料館
		青銅 誕生釈迦仏立像	防府市 H24.5.8	防府市文化財 郷土資料館
		木造 金剛力士立像	国分寺 H26.2.26	国分寺町
		太刀 無銘(伝 信国)	玉祖神社 S44.3.31	大崎居合
		太刀 銘 吉包	玉祖神社 S44.3.31	大崎居合
		天神宮塔勧進帳軸	防府天満宮 S44.12.13	松崎町
		岩淵観音寺の梵鐘	岩淵観音寺 S54.11.1	台道岩淵
歴史資料	銅造 鉢	防府天満宮 S56.3.10	松崎町	
	大楽寺の梵鐘	大楽寺 S59.11.2	桑山一丁目	
	切畑玉祖神社の梵鐘	切畑 玉祖神社 S60.4.1	切畑	
	書跡	妙法蓮華経八巻	防府天満宮 S54.1.10	松崎町
	典籍	紙本墨書 源氏物語	防府天満宮 S58.10.13	松崎町
	考古資料	日輪寺経塚遺物	個人 S42.9.1	東仁井令町
		漢式五神五乳鏡	塩電殿島神社 S44.12.23	田島
		キリシタン灯籠	太平寺 S46.3.27	上右田
		天神山古墳出土品	防府天満宮 H18.3.28	松崎町
	歴史資料	華浦小後握会	華浦小後握会 S44.3.31	華浦二丁目
周防国府跡出土木簡		防府市 H20.9.29	防府市文化財 郷土資料館	
防石鉄道蒸気機関車		防府市 H23.5.13	八王子	
民俗文化財	有形	藤井家旧蔵大工道具	個人 H18.3.28	久兼
		末田の農業生産工房及び登り窯	個人 H28.3.28	江泊末田
	無形	笑い講(神事)	笑い講中 S44.12.23	台道小俣
		民謡 浜子うた	浜子うた保存会 S63.11.11	防府市役所内
		宇佐八幡宮の腰輪踊	宇佐八幡宮腰輪踊保存会 H4.9.1	鈴屋
		車塚古墳	天御中主神社 S42.9.1	車塚町
		江泊瓦窯跡	個人 S43.3.28	江泊堀越
		鋳物師大塚塚	専光寺 S44.3.31	鋳物師町
		向山三号古墳	個人 S44.3.31	佐野才上
		三田尻浜大会所跡	土地開発公社外 S46.2.26	浜方鶴浜
記念物	天然 記念物	岩島古墳	個人 H23.5.13	岩島二丁目
		入江家(入木屋宅)跡 伊藤井上両公陸道蹟	防府市 H27.3.20	富海西町
		玉祖神社の社叢	玉祖神社 S61.3.3	大崎居合
	麻生のツルウメモドキ	個人 S62.9.21	奥畑	
	岩淵のイブキ	個人 S63.10.5	台道岩淵	
	天徳寺のイチョウ	天徳寺 H8.4.26	下右田	
阿弥陀寺のヤマモモ	阿弥陀寺 H9.9.5	牟礼上坂本		

防 府

ふるさとめぐり

自然と歴史に彩られた防府には、魅力あふれる名所がいっぱい。
まちの自然、歴史、文化をじっくりとお楽しみください。



⑤ 防府天満宮



① 右田ヶ岳



② 山頭火生家跡



③ 周防一の宮 玉祖神社



④ 三田尻塩田記念産業公園



エヒメアヤメ



⑥ 周防国分寺



⑦ 枅築らんかん橋



⑧ 毛利氏庭園



⑨ 東大寺別院 周防阿弥陀寺



⑩ 周防国衙跡



⑪ 大平山



⑫ 英雲荘

市章



かたかなの「ハウ」を中心に、周囲に「フ」を四つ配して「フシ」とし、「ハウフシ」（新かなづかいによれば「ホウフシ」となるが、制定された当時の思考を尊重）の市名に通じさせている。「ハウ」の円形は、人の輪、すなわち市民の団結を表し、四方に配する「フ」は、生々発展する防府市の躍進力を象徴する。

昭和12年11月11日制定

都市宣言・市民防災の日



防府市民の誓い

わたくしたちは、ゆたかな自然にめぐまれ、はるかな昔から文化が開けていた歴史のまち防府市を愛し、ともになかよく、みんなの力でさらにのびゆくまちをつくることを念願して次のことを誓います。

- 一、明るいまちにいたしましょう
- 一、豊かなまちにいたしましょう
- 一、健やかなまちにいたしましょう



防府市民の歌

三
 大^{おおひら}平の 峯はさやかに
 佐^{さば}波の瀬に 夕月におう
 安^{やす}らげき 光にみちて
 うるわしき わがふるさと
 ああ 防府 われらの防府
 われらみな やわぎて起たん

二
 歌声は 港に街に
 工場^{こうじょう}の 煙も高く
 たくましき 力あふれて
 栄えゆく わがふるさと
 ああ 防府 われらの防府
 われらみな きおいて起たん

一
 周^{すおう}防なる 都のあとに
 咲く花の 色もかがよい
 おおいなる 希望にもえて
 明^{あき}きらげき わがふるさと
 われらみな きよらに起たん
 ああ 防府 われらの防府
 われらみな きよらに起たん

温雅に明るく
 Tempo di marcia

防府市民の歌 岡田岩吉 作詞
 高橋正剛 作曲

す お う な る み や こ の あ と に き
 く は な の い ら も か が よ い る
 お い は る き ほ う に も え て
 き ら げ き わ が ふ る さ と
 あ は う あ わ れ ら の は う あ わ
 れ ら み な き よ ら に た た ん

市の花・木・花木



市の花 サルビア



市の木 サンゴジュ



市の花木 梅

防府市の位置

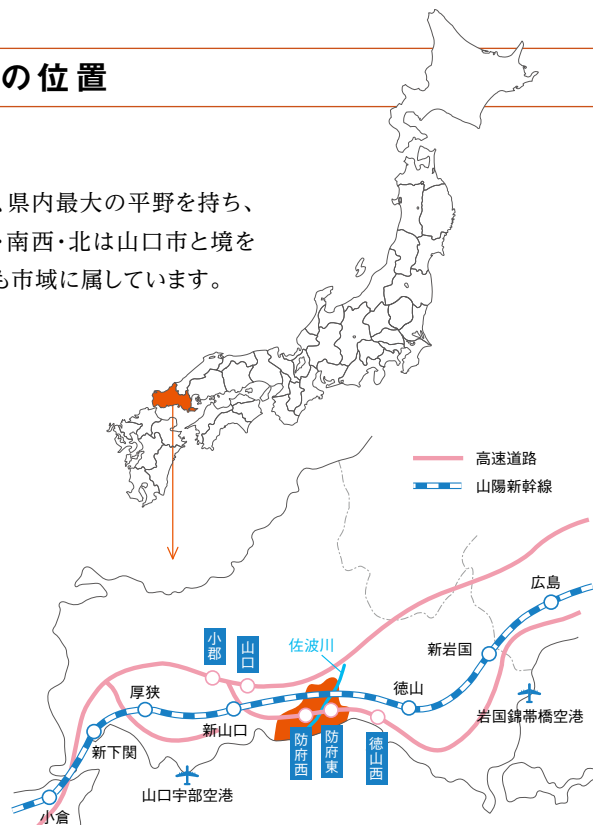
山口県のほぼ中央に位置し、一級河川佐波川の下流に開け、県内最大の平野を持ち、瀬戸内海の美しい海岸線に面しています。東は周南市、西・南西・北は山口市と境を接しています。南方海上の向島・佐波島と南東に浮かぶ野島も市域に属しています。

Location of Hofu City

Hofu City is located near the heart of Yamaguchi Prefecture. Having been formed downstream of the first-class river, Sabagawa, the City has the prefecture's largest flat land (Hofu Plains), and faces a beautiful coastline of Setonaikai Inland Sea. The City is bordered on the east by Shunan City and on the west and north by Yamaguchi City. The three islands on the south, Mukoshima, Sabashima, and Noshima, are included in the City.

호후시의 위치

아마구치현 중앙에 자리잡은 호후시는 1급 하천 사바가와와 하류에 위치합니다. 또한, 아마구치현 최대의 평야가 자리잡고 있으며 세토 내해의 아름다운 해안선에 면해 있습니다. 동쪽으로는 슈난시, 서쪽, 남서쪽, 북쪽으로는 아마구치시와 경계를 이루고 있으며 남쪽 해상의 섬인 무코시마, 사바시마, 동남쪽에 떠 있는 섬인 노시마도 호후시에 속해 있습니다.



祝

夏の甲子園初出場 高川学園高等学校 野球部

平成28年(2016年)



防府市市勢要覧がタブレットやスマホで見られる！ 多言語で読める！

期間限定配信 平成29年3月末まで



この防府市市勢要覧は無料アプリ「Catalog Pocket」で、タブレット、スマホなどの手持ちのデバイスで閲覧することができます。また、日本語・英語・簡体字中国語・繁体字中国語・韓国語・タイ語の6言語で読むことができます。※資料編(P45-53)は多言語に対応していません。

右の二次元コードからダウンロード出来ます。
Catalog Pocketをダウンロードしたら「HOFU」で検索！

Q HOFU で検索



Androidから



iPhone/iPadから





平成28年
山口県防府市市勢要覧

発行日:平成28年8月 発行:防府市総務部総務課
〒747-8501 山口県防府市寿町7番1号 TEL.0835-23-2111
<http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/>

印刷:大村印刷株式会社